

3章 国内・国外観光客に係る調査

本章では、北谷町の観光動向（内部環境）として、人流ビッグデータ（GPS データ）から町内観光客数や滞在時間、流出入時刻等を過去 3 カ年で整理し、町内の観光動向を把握している。

3-1 分析に使用する GPS データの概要

(1) 分析データの概要

GPS データは、位置情報を取得しているスマートフォンのアプリ提供者等が販売しており、本調査では、日本人については株式会社 Agoop のデータ、外国人については Azira のデータを使用する。

データ特性は、下表（表 3-1）のとおりである。株式会社 Agoop のデータは、月の有効ユーザー数約 160 万人、データの取得ピッチは約 9 分、取得可能データは性別、年齢、居住エリア、勤務等である。（性別、年齢は一部のみ）

表 3-1 分析使用 GPS データの概要

	【日本人】 株式会社 Agoop	【外国人】 Azira
アプリ概要	140 種類のアプリケーション（歩数計、Wi-Fi 場所等）	アプリケーション
ユーザー数	約 160 万/月ユーザー数	16 億を超えるユーザー（全世界サンプル数）
データ取得ピッチ	平均 9 分	非公開
分析粒度	ポイントデータ	ポイントデータ
取得可能データ	性別、年代、推定居住地と推定勤務地、観測軽度、観測緯度等。 ※性別、年齢を確実に取得しているものではなく、アプリケーション上の回答であり、回答は任意。	国籍、観測軽度、観測緯度等。 ※性別、年代の取得は不可能。

GPS データを用いて分析する北谷町での日本人観光動態の分析項目は下表（図 3-2）のとおりである。

表 3-2 分析結果内容一覧

分析結果概要	居住地、性別、年代、月別の来訪観光客数の推移、北谷町内宿泊率、観光スポット別の流入流出時間
国内・国外観光客	居住地、性別、滞在場所、観光スポットにおける滞在人数、観光スポット間の移動状況
大型イベントやスポーツキャンプの詳細分析	シーポートちゃたんカーニバル、中日ドラゴンズ春季キャンプ
リピーターの観光特性	リピート人数、リピート率、平均来訪日数
サンセットビューライン	サンセットビューライン間の移動状況

(2) データ分析の前処理

1) 分析対象とする主な観光地

分析対象とする観光地スポットは、令和5年度業務と同様の14施設と2024年11月20日にオープンした北谷町立博物館を加えた15施設を基本とする。滞在を判定するため、観光地スポットについては施設形状を作成、その他については250mメッシュ単位で分析を行った。なお、北谷フィッシャリーナ及び美浜アメリカンビレッジに関しては、より詳細に分析できるように分割を行った。(表3-3、図3-1、図3-2)

表3-3 観光スポット

観光スポット	備考
美浜アメリカンビレッジ	「デポアイランドシーサイド」、「美浜駐車場」、「イオン北谷」、「映画館」、「デポアイランド」、「デポABC・Fプラザ」、「グルメ館・ドラゴンパレス」、「シーサイドスクエア」、「ボクネン美術館」、「メイクマン美浜店」、「体験型アミューズメント」、「観光情報センター」、「ボードウォーク_アメリカンビレッジ」、「ホテル（結婚式場あり）」に分割
北谷フィッシャリーナ	「うみんちゅワーフ」、「商業施設_フィッシャリーナ」、「ボードウォーク_フィッシャリーナ」、「デポセントラル」、「結婚式場」に分割
北谷公園	
サンセットビーチ	
アラハビーチ・安良波公園	
宮城海岸	
砂辺馬場公園・モニュメントエリア	
謝苅公園	
山手通り	
テルメヴィラちゅら一ゆ	
うちなあ家	
ハンビーフリーマーケット	土曜日・日曜日のみ
サンエーハンビータウン	
ユニオン北谷店	
北谷町立博物館	追加施設（2024年11月20日オープン）

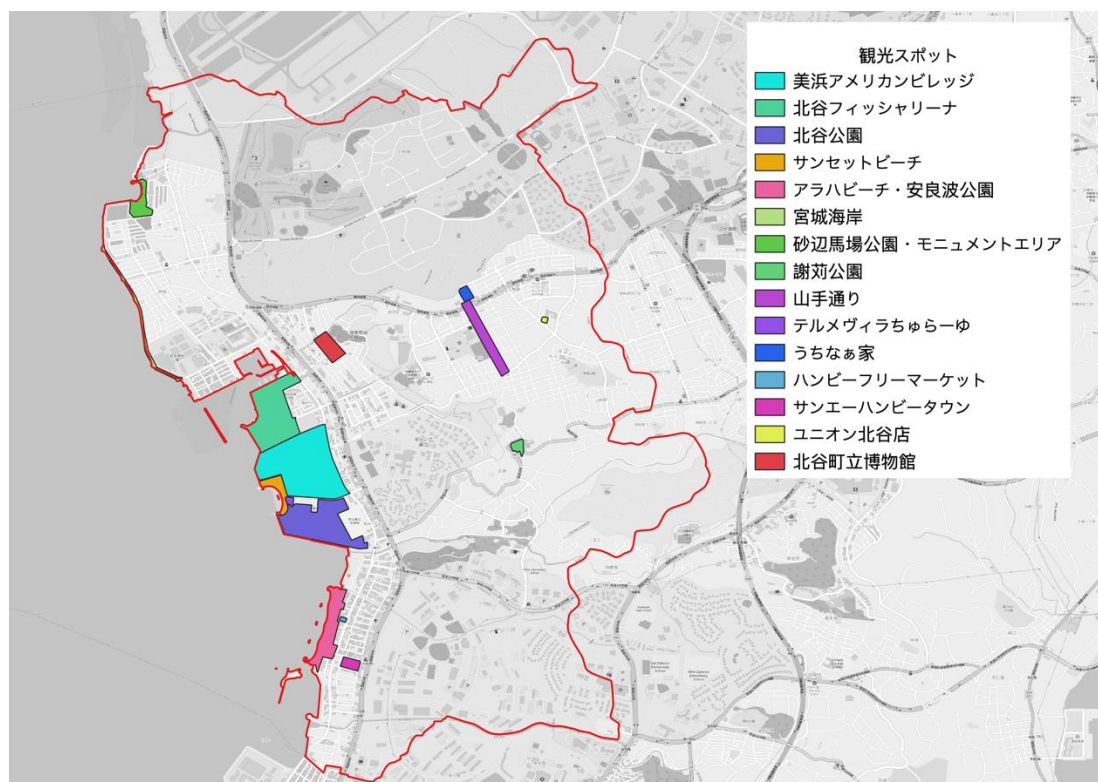


図3-1 観光スポットの位置

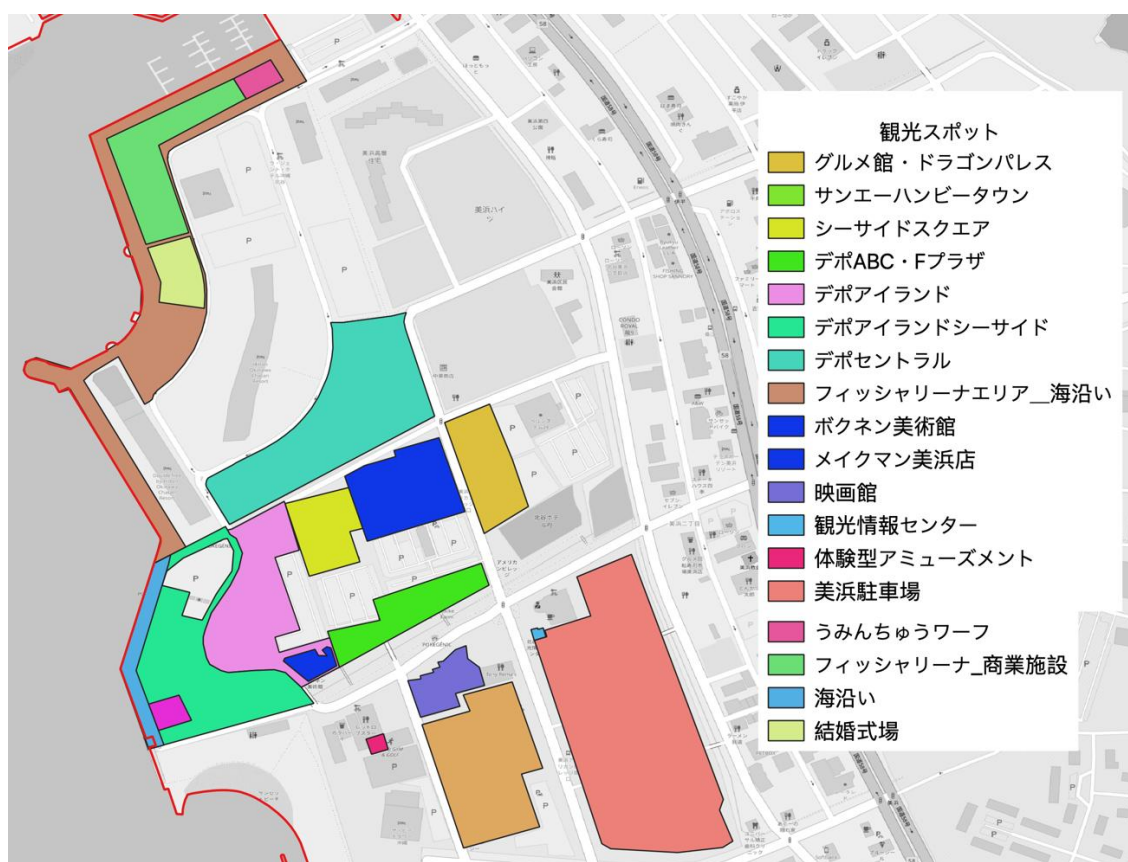


図3-2 北谷フィッシャリーナと美浜アメリカンビレッジの詳細

2) データ定義

令和5年度業務と同様に本調査では、「北谷町居住者以外で北谷町に滞在」した人を観光客と定義した。なお、北谷町への訪問回数が多い場合は通勤や取引先への納品等の可能性があるため、滞在回数等を考慮した。観光客以外と判断する主な項目は以下の通りである。(表3-4)

ただし、外国人については日本人と異なり、日本政府観光局(JNTO)「外国人旅行動向」によると平均滞在日数が16日～18日と長期滞在であるため、除外項目は設定しない。

表3-4 除外項目

除外項目	除外基準
北谷町民	北谷町居住者
通勤	1月に10回以上北谷町に滞在している人
納品等	1年で4回以上北谷町に滞在している人
長期滞在者	2週間以上滞在している人

宿泊者については、夜間(2時から4時)に最も多く観測された場所を宿泊地として定義した。

3) 滞在時間の設定

観光スポットについては施設形状で分析を行うため、それぞれで滞在時間が異なることが考えられる。令和5年度業務との比較を行うため、本業務で追加した北谷町立博物館を除く14施設においては、令和5年度業務と同様の基準である。北谷町立博物館においては、平均滞在時間を算出し、平均時間を参考に基準を設定した。

基準以上観測された場合のみ、滞在と定義した。観光スポットの平均滞在時間と滞在時間の基準は、以下の通りである。(表3-5、図3-3)

表 3-5 観光スポットごとの基準の滞在時間

観光スポット	基準の滞在時間	備考
アラハビーチ・安良波公園	20 分	令和 5 年度業務 と同様の基準
サンエーハンビータウン	25 分	
サンセットビーチ	15 分	
テルメヴィラちゅら一ゆ	30 分	
北谷フィッシャリーナ	25 分	
ユニオン北谷店	10 分	
北谷公園	20 分	
宮城海岸	10 分	
山手通り	20 分	
砂辺馬場公園・モニュメントエリア	10 分	
美浜アメリカンビレッジ	40 分	
謝荊公園	15 分	
うちなあ家	10 分	
ハンビーフリーマーケット	10 分	
250m メッシュ（その他）	15 分	
北谷町立博物館	5 分	追加施設

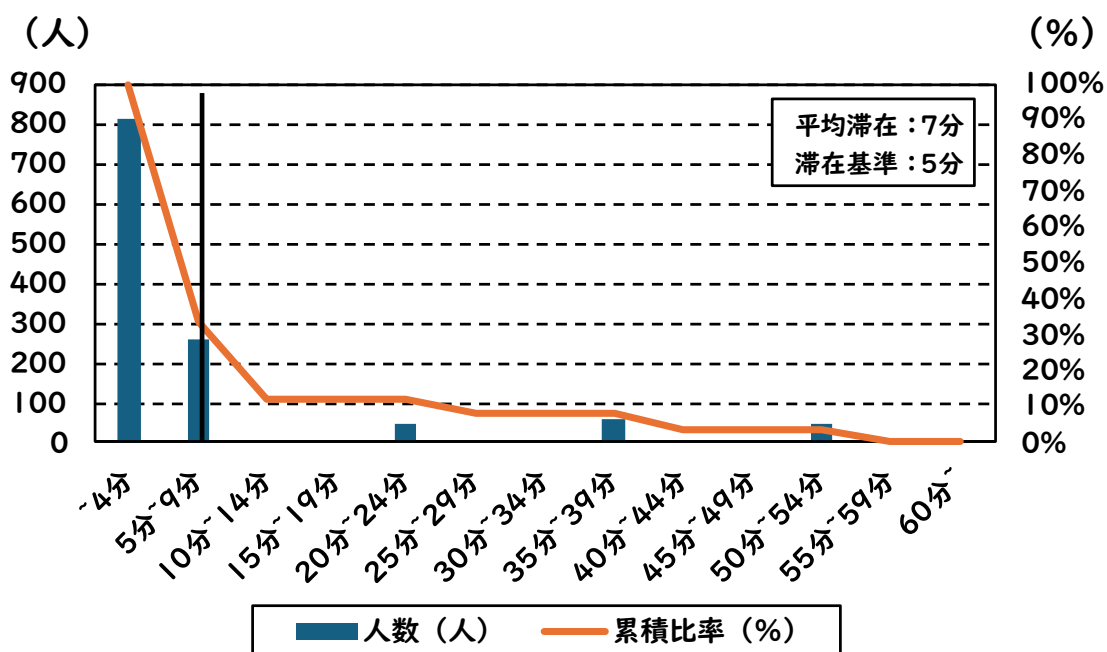


図 3-3 北谷町立博物館の平均滞在時間及び滞在基準

3-2 分析結果

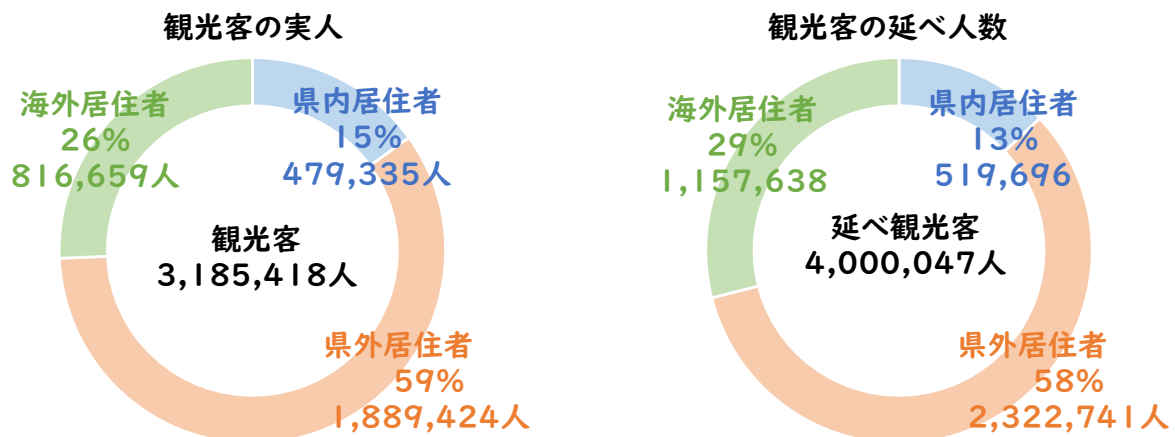
(1) 北谷町来訪者の観光動態

1) 観光客数

2024年の観光客の実人数は3,185,418人であり、沖縄県内居住者は479,335人(15%)、沖縄県外居住者は1,889,424人(59%)、海外居住者は816,659人(26%)となった。

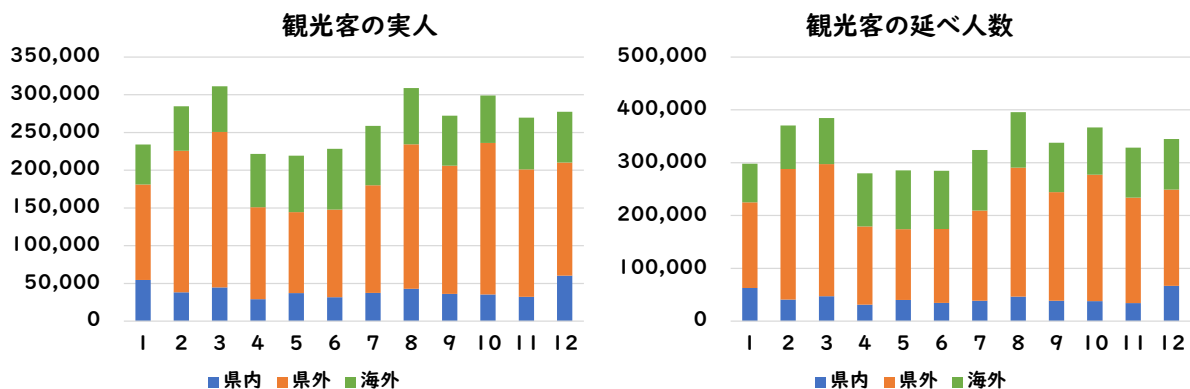
また、観光客の延べ人数は4,000,047人であり、沖縄県内居住者は519,696人(13%)、沖縄県外居住者は2,322,741人(58%)、海外居住者は1,157,638人(29%)となった。(図3-4)

月別来訪観光客数の推移を見ると1月、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図3-5)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-4 2024年の観光客数（分析対象者）



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-5 2024年の月別観光客数の推移

2) 北谷町内宿泊者数

2024 年の北谷町に宿泊した観光客の実人数は 620,441 人であり、沖縄県内居住者は 15,810 人 (3%)、沖縄県外居住者は 312,584 人 (50%)、海外居住者は 292,047 人 (47%) となった。

また、北谷町に宿泊した観光客の延べ人数(人泊数)は 864,501 人であり、沖縄県内居住者は 15,810 人 (2%)、沖縄県外居住者は 410,561 人 (47%)、海外居住者は 435,395 人 (50%) となった。(図 3-6)

月別北谷町内宿泊者の推移を見ると 1 月、4 月から 6 月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図 3-7)

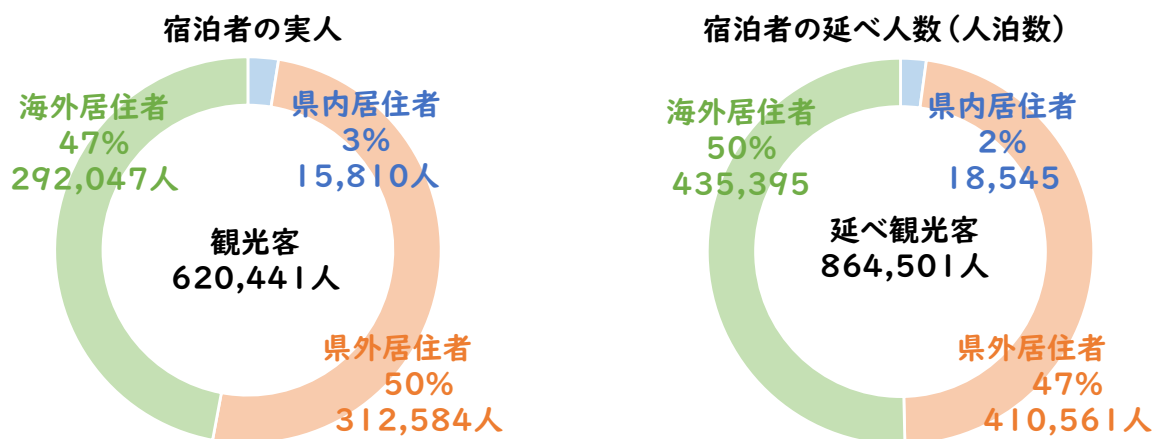
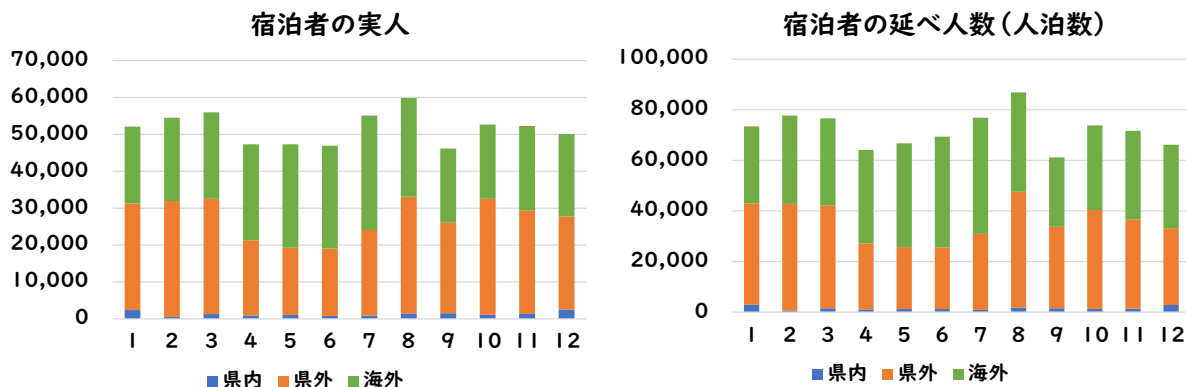


図 3-6 2024 年の北谷町内宿泊者数



※1 月 31 日～2 月 1 日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の 1 月で集計

図 3-7 2024 年の月別北谷町内宿泊者数の推移

3) 宿泊場所

美浜アメリカンビレッジや北谷フィッシャリーナの宿泊が多く、それぞれ北谷町宿泊者の約10%以上である。(図3-8)

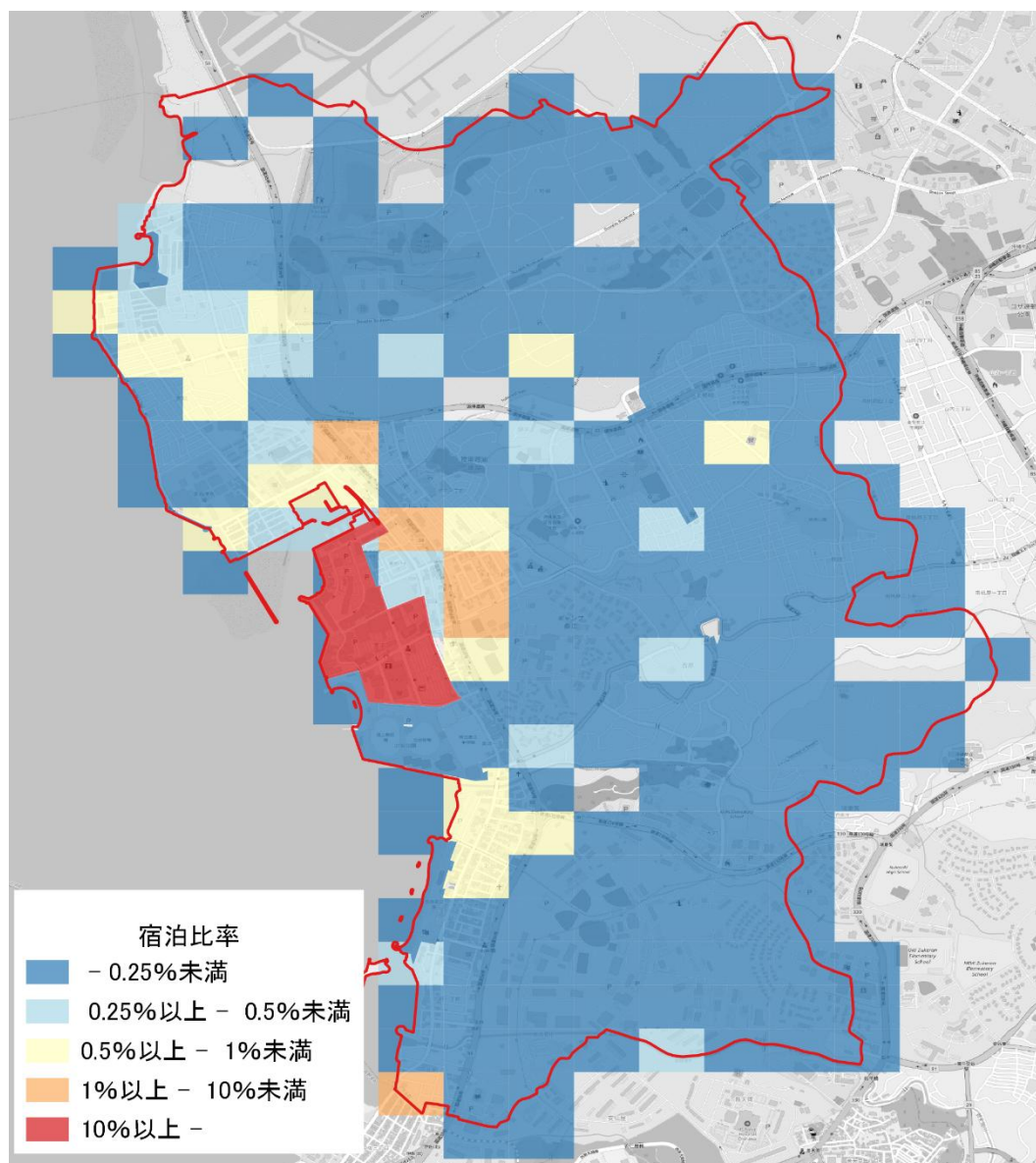
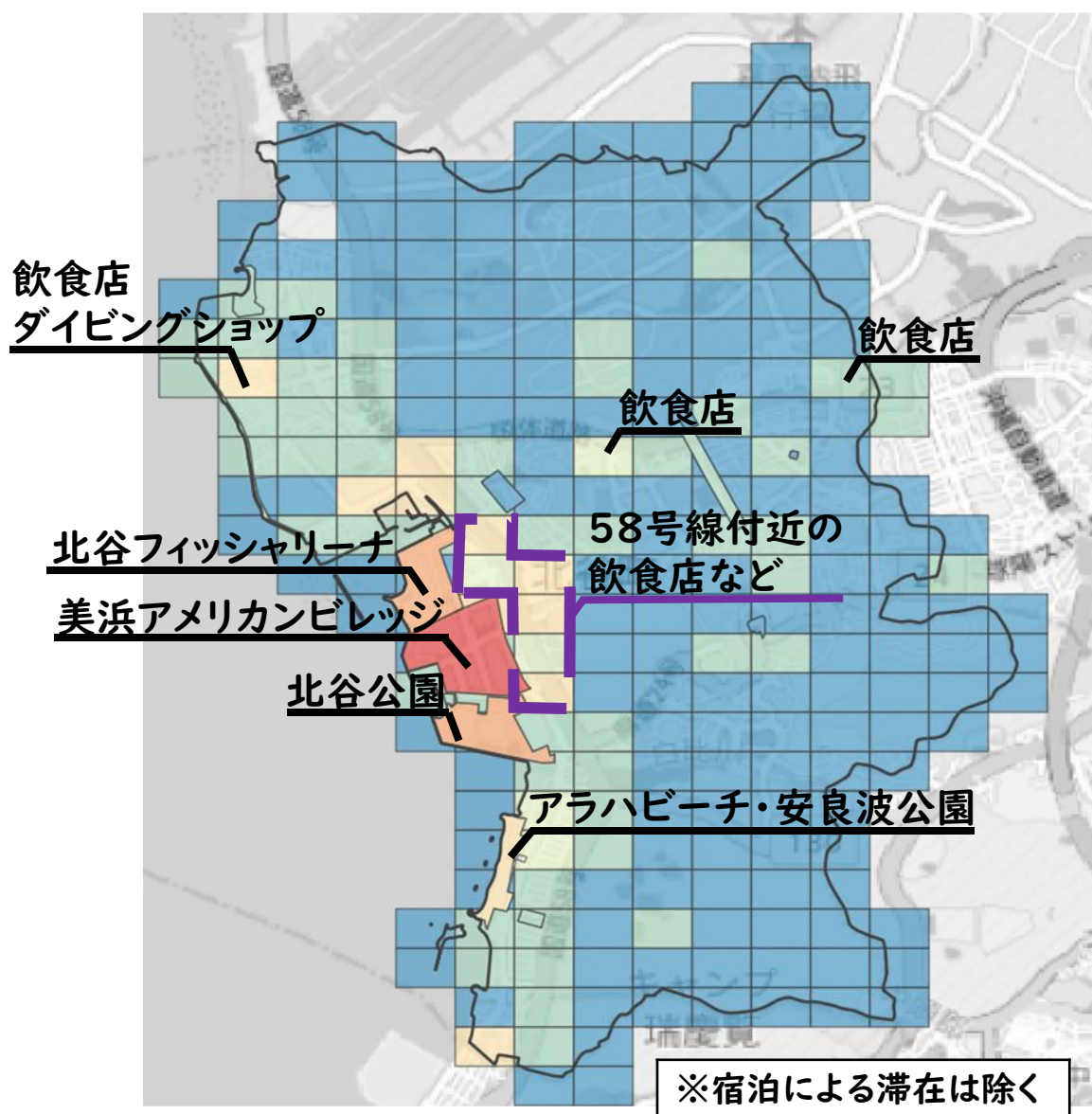


図3-8 2024年の宿泊場所

4) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 259 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 52%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 55 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 11 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%、アラハビーチ・安良波公園で 7 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 1%である。(図 3－9)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※滞在延べ数比率が 1 %以上観光スポットを表で表示

図 3－9 滞在場所

5) 施設別滞在者比率

北谷公園は、海外居住者の比率が低く、その他の観光スポットは、県内が20%、県外が60～70%、海外が15～30%である。

博物館については、会館したばかりで県内の訪問者の割合が多いと考えられる。(図3-10)

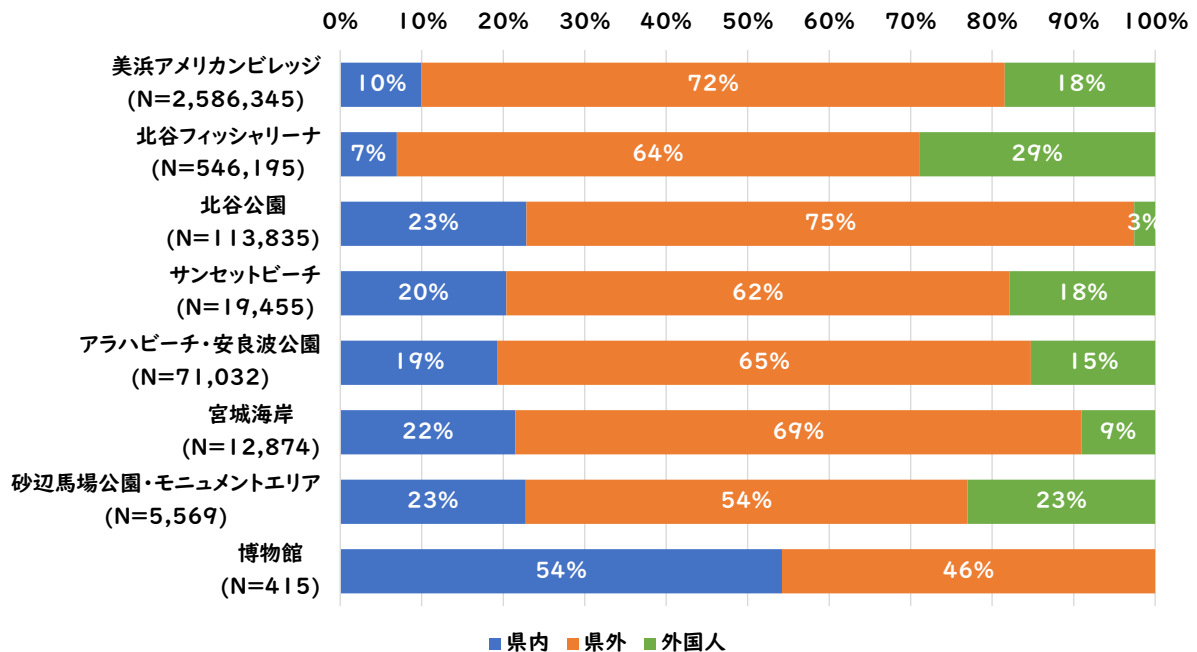


図3-10 施設別滞在者比率

6) 観光スポット別の流入流出時刻

各観光スポットの流入時刻、流出時刻を整理した。流入は各観光スポットで初めて観測された時刻、流出は各観光スポットで最後に観測された時刻である。

美浜アメリカンビレッジ

8 時台から 22 時台にかけて流入と流出がある。特に流入では 12 時台から 18 時台が高い傾向にある。流出では 14 時台から 16 時台が高い傾向にある。(図 3-11)

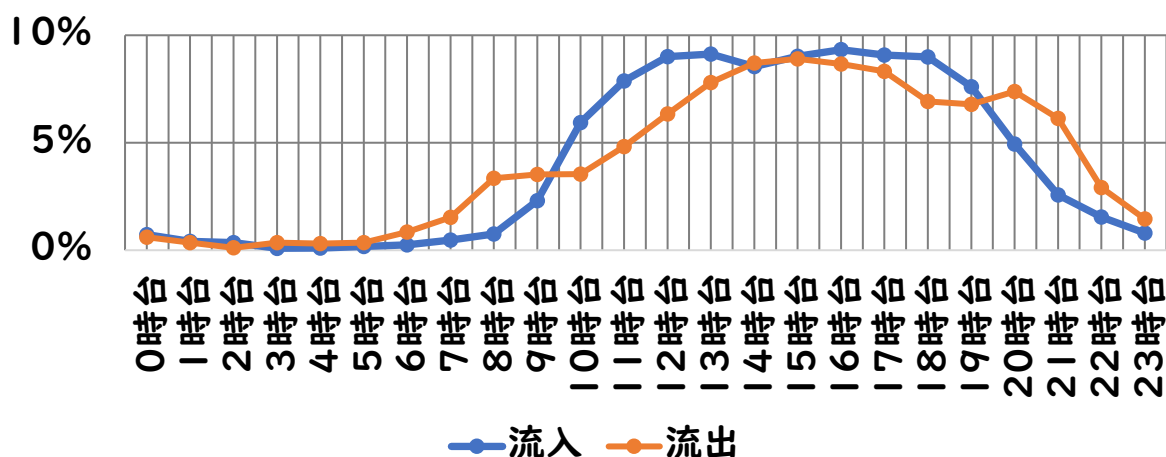


図 3-11 美浜アメリカンビレッジの流入流出時刻

北谷フィッシャリーナ

7 時台から 23 時台にかけて流入と流出がある。特に流出では 8 時台から 9 時台が高い傾向にある。流入では 17 時台から 20 時台が高い。(図 3-12)

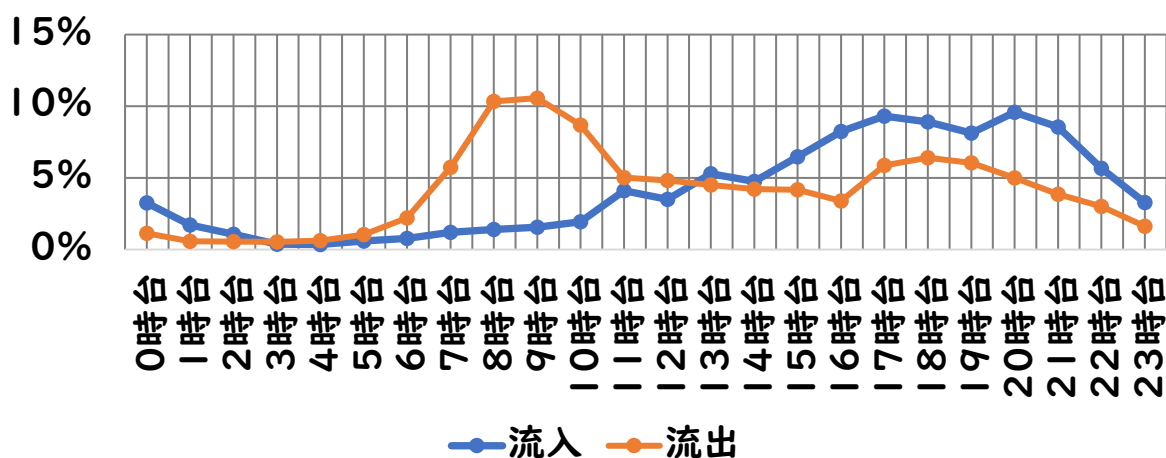


図 3-12 北谷フィッシャリーナの流入流出時刻

北谷公園

7 時台から 16 時台にかけて流入と流出がある。特に流入では 9 時台と 12 時台が高い傾向にある。流出では 14 時台から 16 時台が高い。(図 3-13)

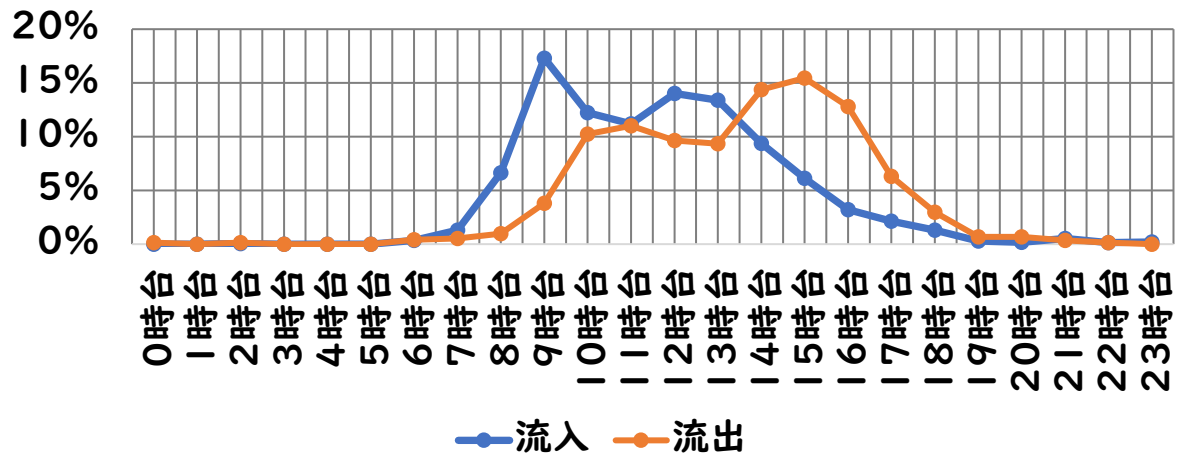


図 3-13 北谷公園の流入流出時刻

サンセットビーチ

7 時台から 23 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-14)

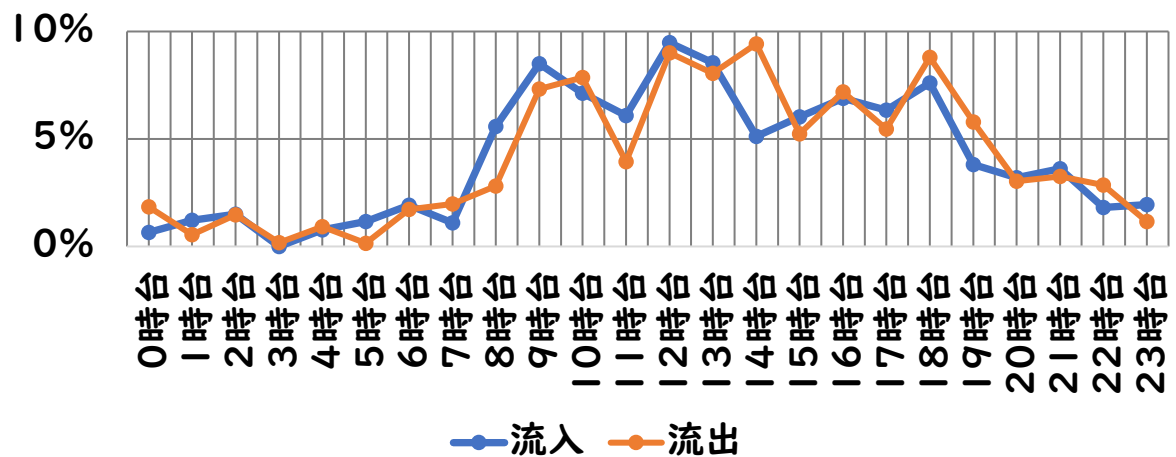


図 3-14 サンセットビーチの流入流出時刻

アラハビーチ・安良波公園

8時台から19時台にかけて流入と流出がある。特に流入では11時から12時台と15時台が高い傾向にある。流出では16時台が最も高い。(図3-15)

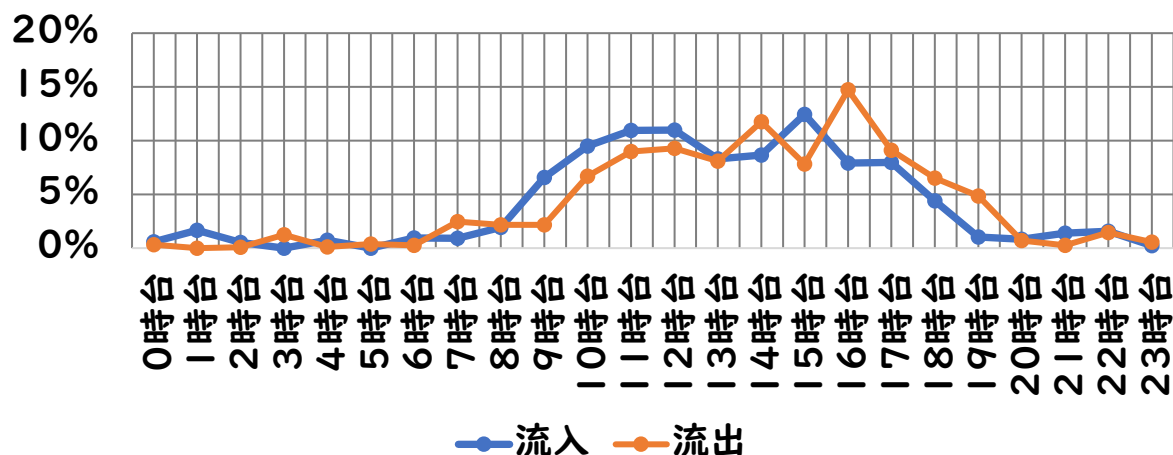


図3-15 アラハビーチ・安良波公園の流入流出時刻

宮城海岸

6時台から19時台にかけて流入と流出がある。特に流入では8時台が最も高い。(図3-16)

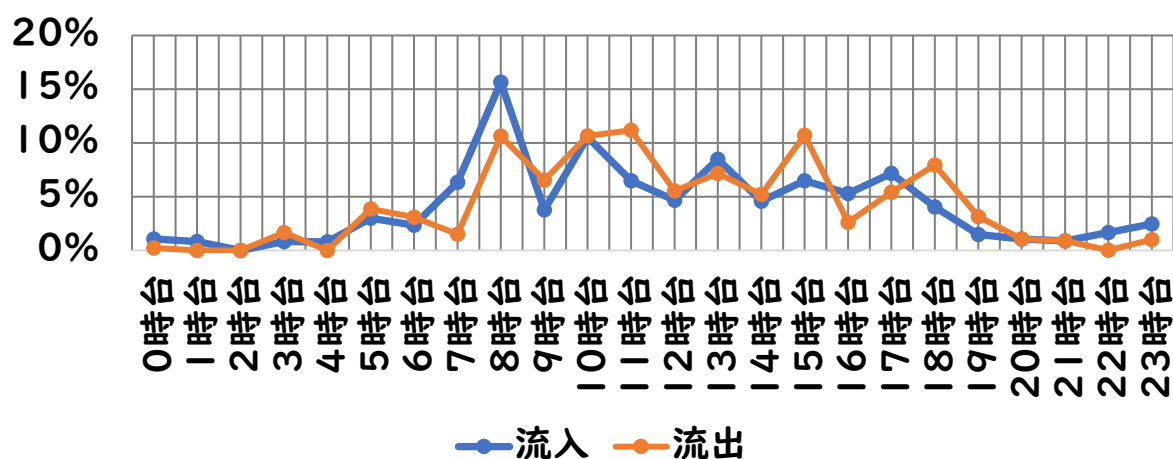


図3-16 宮城海岸の流入流出時刻

砂辺馬場公園・モニュメントエリア

6 時台から 21 時台にかけて流入と流出がある。流入と流出ともに、10 時台から 15 時台にかけて高い傾向にある。(図 3-17)

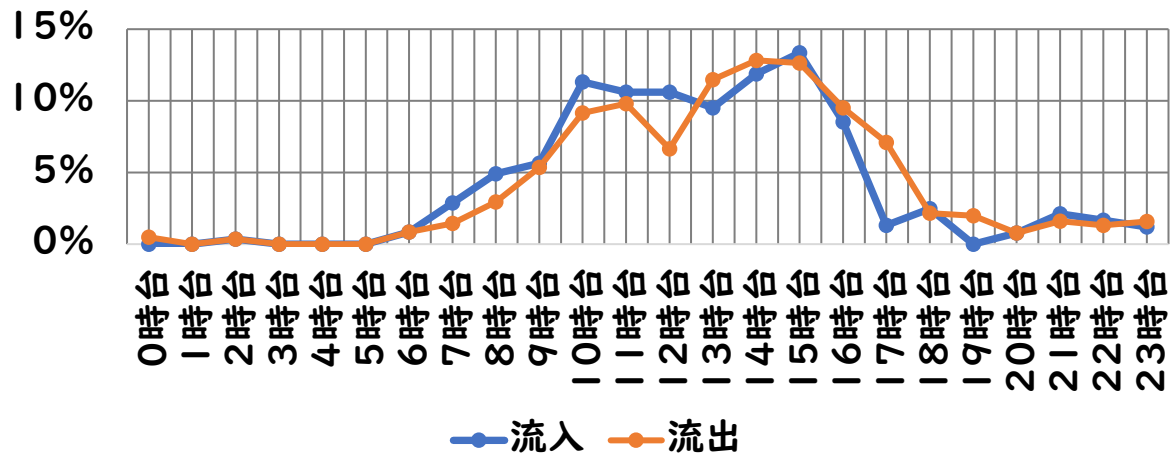


図 3-17 砂辺馬場公園・モニュメントエリアの流入流出時刻

謝荊公園

10 時台から 21 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-18)

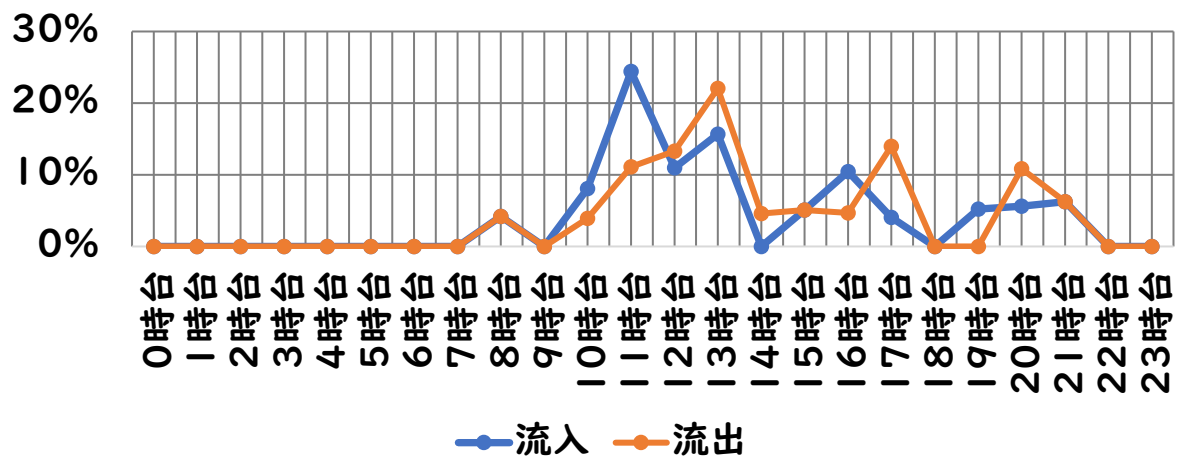


図 3-18 謝荊公園の流入流出時刻

山手通り

9時台から21時台にかけて流入と流出がある。特に流入では15時台と19時台が高い傾向にある。(図3-19)

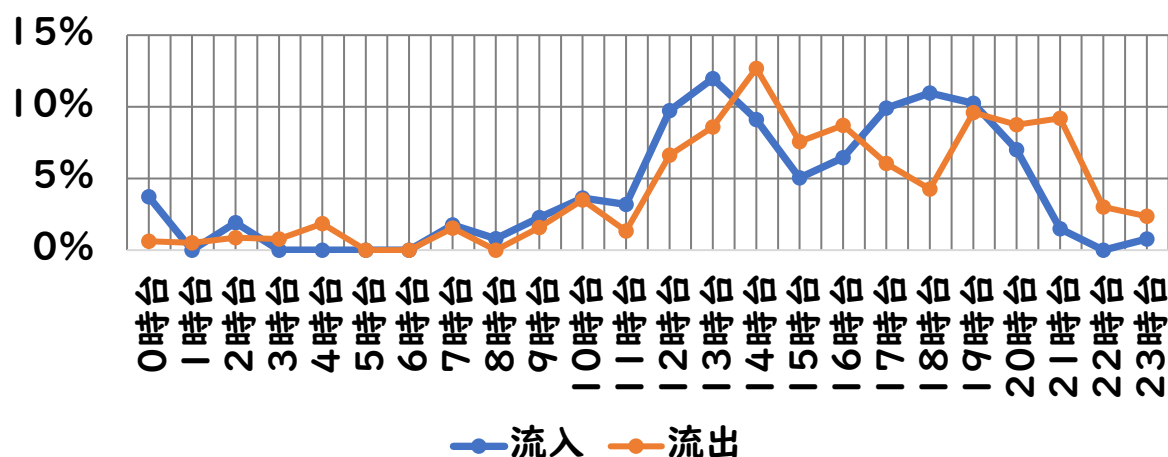


図3-19 山手通りの流入流出時刻

テルメヴィラちゅら一ゆ

9時台から21時台にかけて流入と流出がある。流入では18時台が最も高い傾向にある。流出では19時台が最も高い。(図3-20)

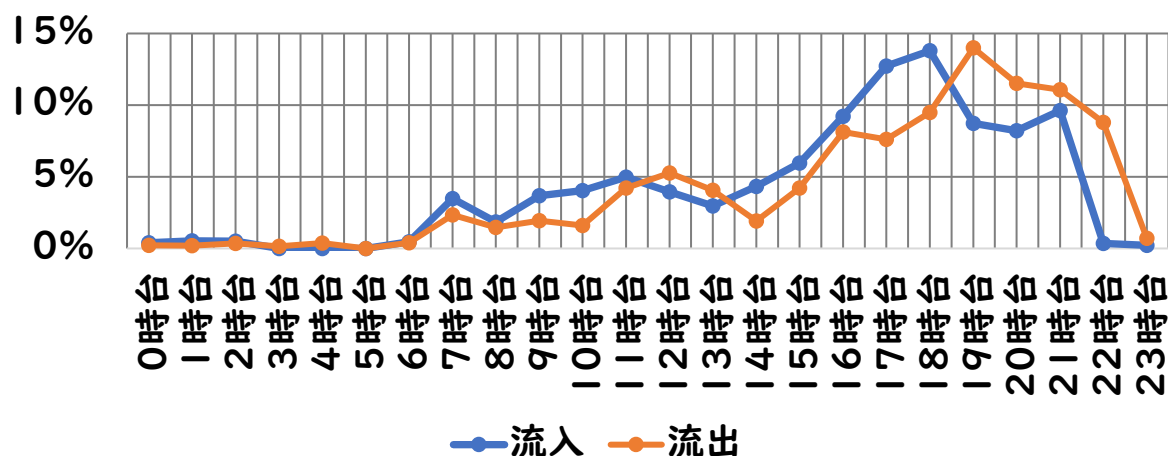


図3-20 テルメヴィラちゅら一ゆの流入流出時刻

うちなあ家

10 時台から 17 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-21)

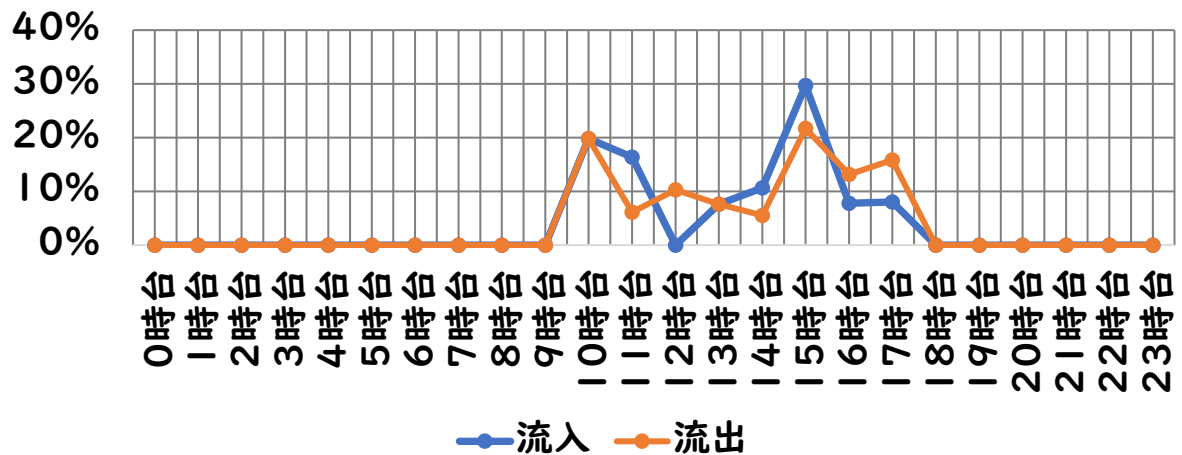


図 3-21 うちなあ家の流入流出時刻

ハンビーフリーマーケット

滞在が見られなかった。

北谷町立博物館

10 時台から 15 時台にかけて流入と流出がある。(図 3-22)

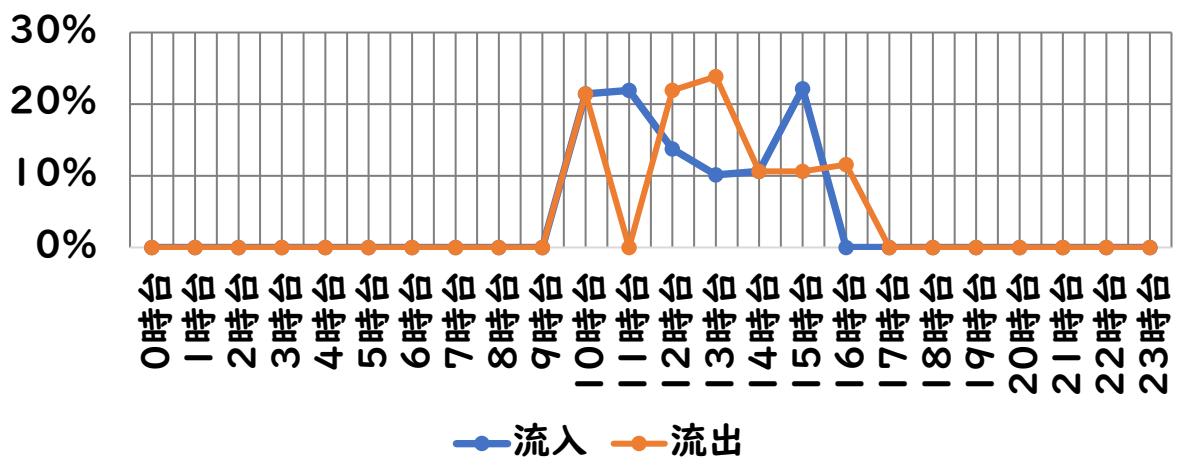


図 3-22 北谷町立博物館の流入流出時刻

7) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の74%である。上位5位までで、全体の90%をカバーしている。(表3-6、図3-23)

表3-6 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	363,838	74%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	29,298	6%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	24,064	5%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	23,674	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	15,187	3%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	10,242	2%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	6,841	1%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	2,708	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	2,215	0.5%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸	2,123	0.4%

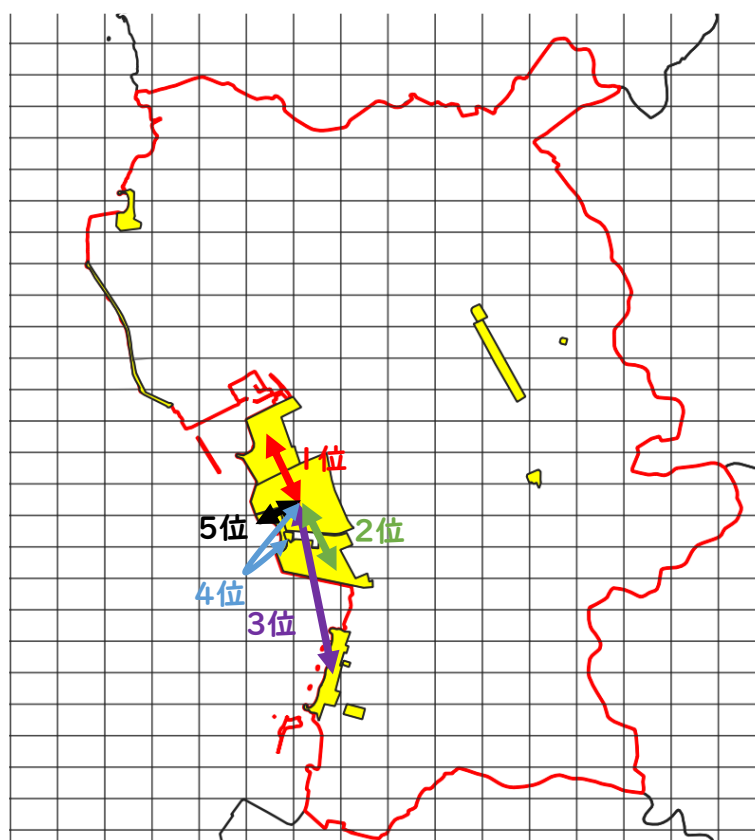


図3-23 観光スポット間移動上位5位

8) 北谷町観光スポット（施設）と町外観光スポット（施設）間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城など観光施設の割合が高い。（表 3－7）

表 3－7 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位 5 位

上位 5 位	町外観光スポット	比率
1 位	国際通り（那覇市）	3%
2 位	美ら海水族館（本部町）	2%
3 位	那覇空港（那覇市）	2%
4 位	イオンモール沖縄ライカム（北中城村）	2%
5 位	首里城（那覇市）	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(2) 沖縄県内居住者の観光動態

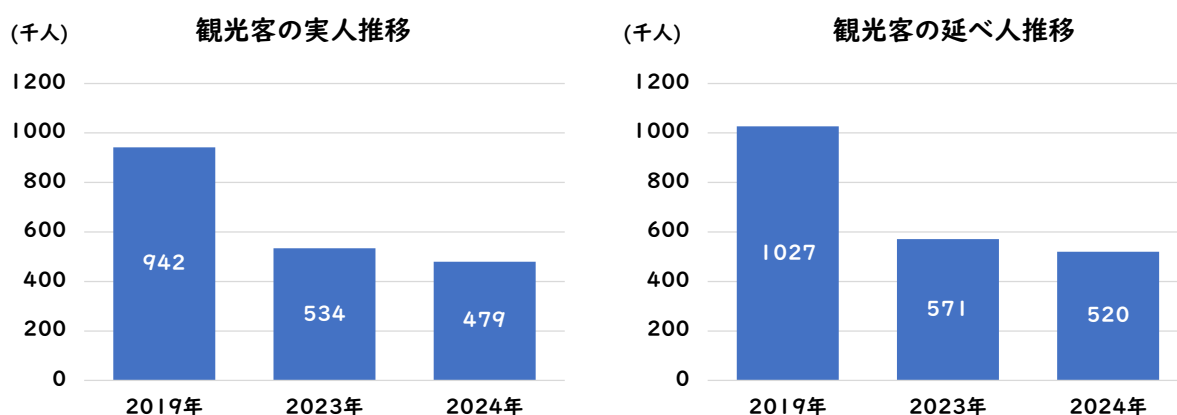
北谷町観光客のうち、沖縄県内居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

沖縄県内居住者の観光客実人数は、2019年で約94万人から2023年で約53万人、2024年で約48万人と推移しており、減少傾向である。

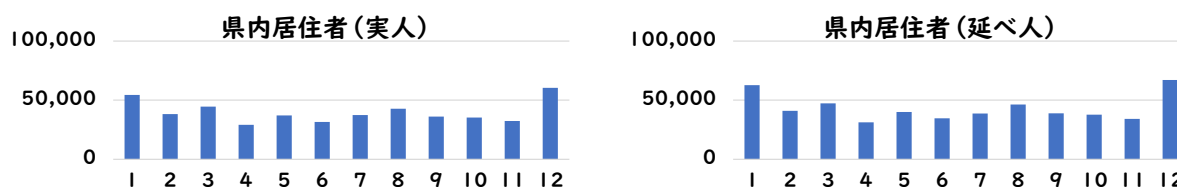
沖縄県内居住者の観光客延べ人数は、2019年で約103万人から2023年で約57万人、2024年で約52万人と推移しており、減少傾向である。(図3-24)

2024年における沖縄県内居住者の観光客の月別推移は、1月と12月が他の月と比べ観光客数が多い。(図3-25)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-24 沖縄県内居住者の観光客数の推移(年別)



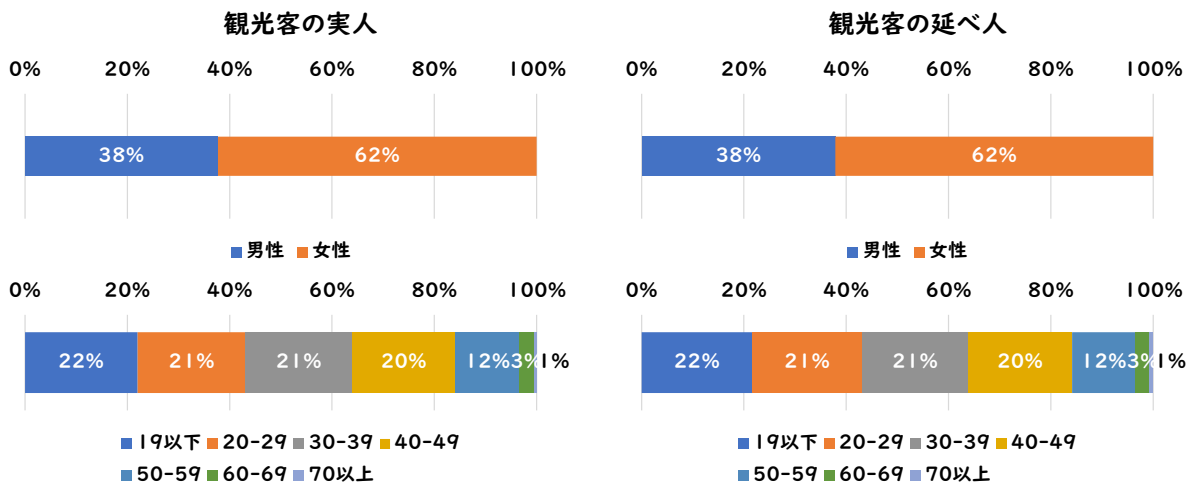
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-25 2024年の月別沖縄県内居住者の観光客数の推移

2) 性別・年代

観光客の男女比は、実人と延べ人ともに男性 38%、女性 62%である。観光客の年代比は、実人と延べ人ともに 49 歳以下の各年代がそれぞれ 20%である。ただし、性別・年齢は一部のデータのみ取得が可能なため、注意が必要である。(図 3-26)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図 3-26 2024 年の沖縄県内居住者の観光客の性別構成比（上：性別 下：年代）

3) 居住地

観光客の居住地の上位 5 位の順は、「那覇市」「沖縄市」「うるま市」「浦添市」「宜野湾市」である。(図 3-27、図 3-28)

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	那覇市	233,830	那覇市	121,580	那覇市	108,107
2位	沖縄市	93,362	沖縄市	55,052	沖縄市	46,479
3位	うるま市	77,173	うるま市	48,757	うるま市	44,212
4位	浦添市	71,959	浦添市	39,419	浦添市	38,384
5位	宜野湾市	61,659	宜野湾市	34,664	宜野湾市	33,998

図 3-27 2024 年県内観光客の居住地（実数）

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	那覇市	248,978	那覇市	141,357	那覇市	112,495
2位	沖縄市	112,069	沖縄市	82,369	沖縄市	55,274
3位	うるま市	83,374	うるま市	59,287	うるま市	47,569
4位	浦添市	75,686	宜野湾市	46,632	浦添市	40,207
5位	宜野湾市	74,568	浦添市	46,255	宜野湾市	37,934

図 3-28 2024 年県内観光客の居住地（延べ数）

4) 北谷町内宿泊者

沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2019年で約8万人から2023年で約3万人、2024年で約2万人と推移しており、減少傾向である。

沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数（人泊数）は、2019年で約10万人から2023年で約4万人、2024年で約2万人と推移しており、減少傾向である。（図3－29）

2024年における沖縄県内居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した人数の月別推移は、1月と12月が他の月と比べ宿泊者数が多い。（図3－30）

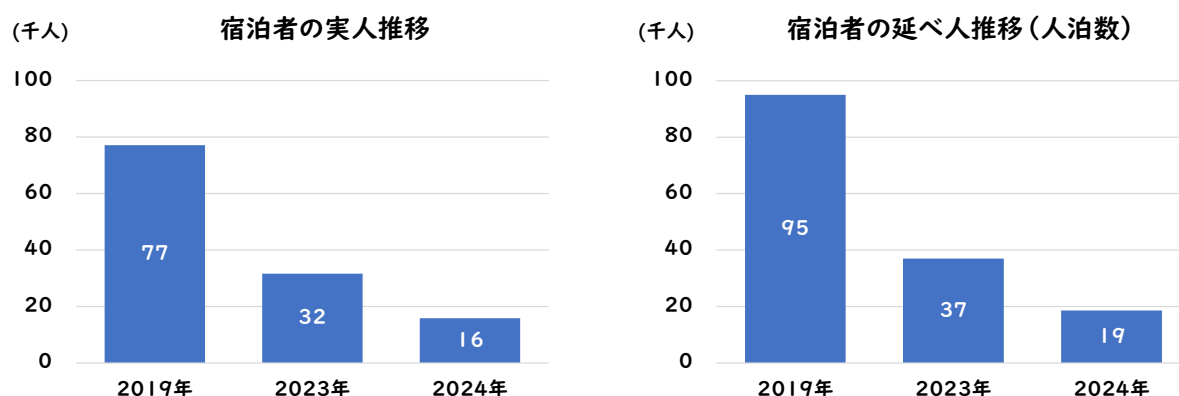
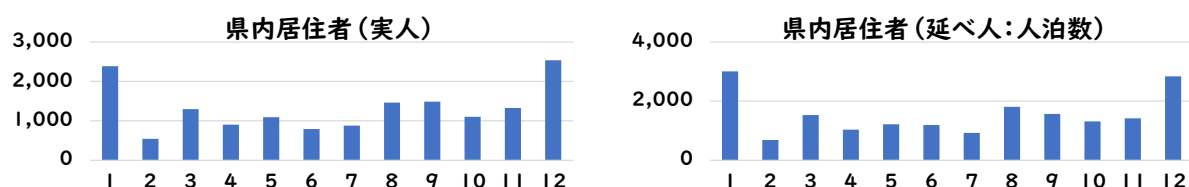


図3－29 北谷町内宿泊者数の推移（年別）

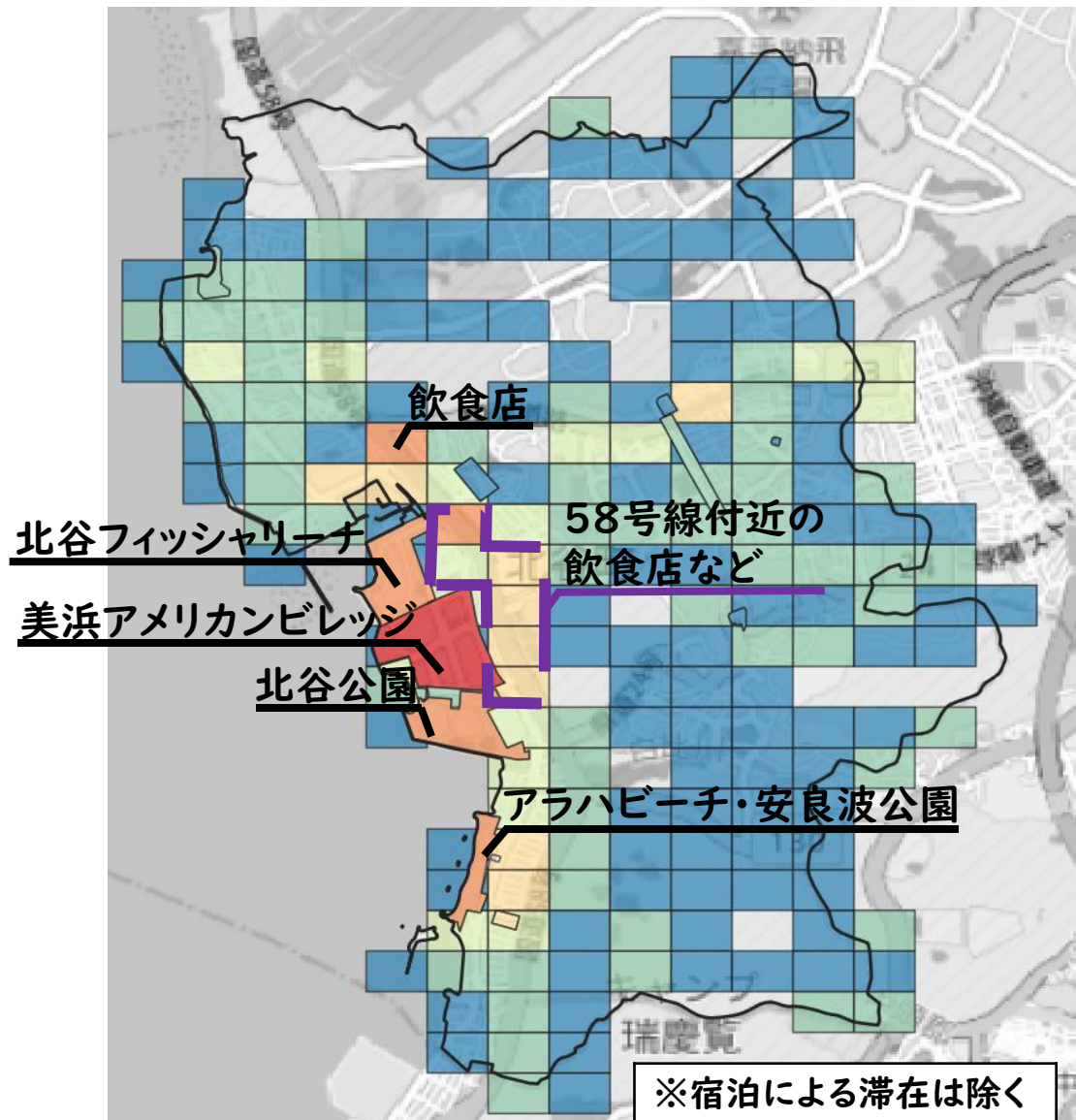


※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3－30 2024年の月別北谷町内宿泊者数の推移

5) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 26 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 52%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 4 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 3 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%、アラハビーチ・安良波公園で 1 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 1%である。(図 3-31)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※県内居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-31 沖縄県内居住者の滞在場所

6) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の52%である。上位5位までで、全体の89%をカバーしている。(表3-8、図3-32)

表3-8 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	10,721	52%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	3,517	17%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	2,276	11%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	1,128	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	732	4%
6位	アラハビーチ・安良波公園⇄北谷公園	498	2%
7位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	240	1%
8位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	172	1%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	171	1%
10位	北谷フィッシャリーナ⇄宮城海岸	137	1%

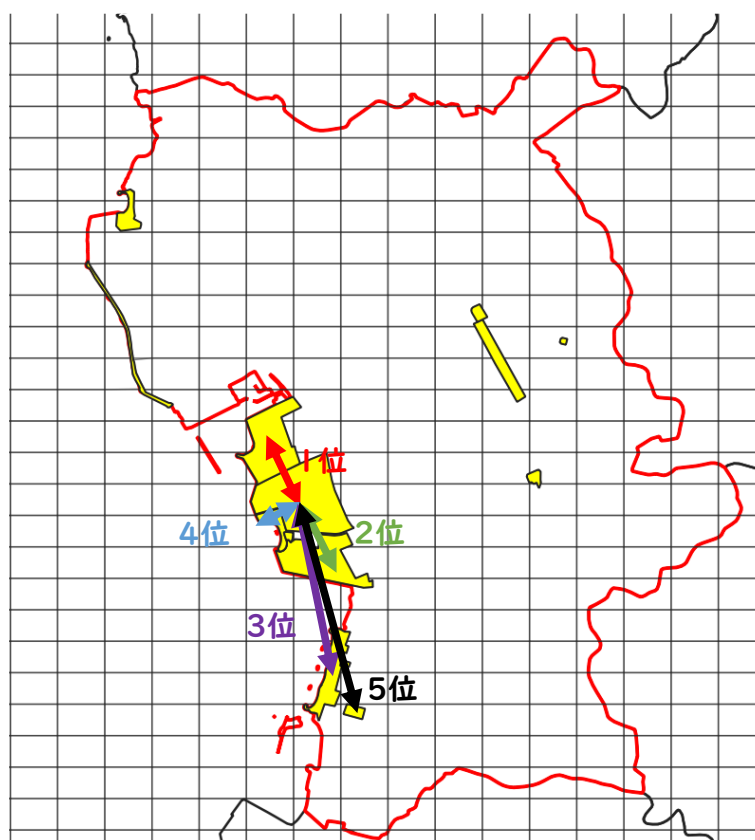


図3-32 観光スポット間移動上位5位

6) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

ショッピング施設の割合が高い。(表3-9)

表3-9 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位5位

上位5位	町外観光スポット	比率
1位	イオンモール沖縄ライカム(北中城村)	2%
2位	サンエー浦添西海岸 PARCO city(浦添市)	2%
3位	はにんす宜野湾(宜野湾市)	1%
4位	サンエーコンベンションシティ(宜野湾市)	1%
5位	那覇オーパ(那覇市)	0%

※滞在が多い施設についても表示している。

(3) 沖縄県外居住者の観光動態

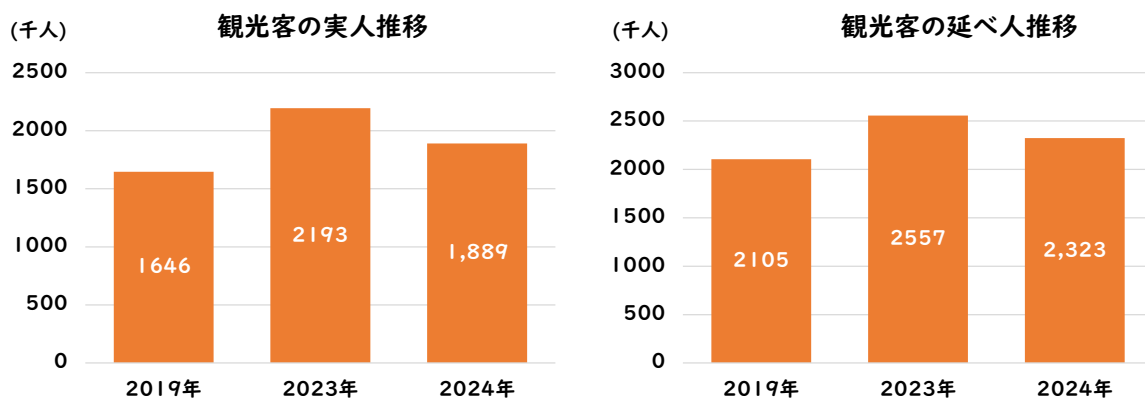
北谷町観光客のうち、沖縄県外居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

沖縄県外居住者の観光客実人数は、2019年で約165万人から2023年で約219万人、2024年で約189万人と推移している。

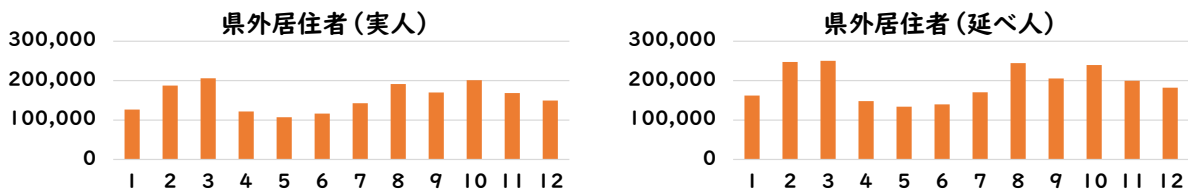
沖縄県外居住者の観光客延べ人数は、2019年で約210万人から2023年で約256万人、2024年で約232万人と推移している。(図3-33)

2024年における沖縄県外居住者の観光客の月別推移は、1月、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。(図3-34)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-33 沖縄県外居住者の観光客数の推移(年別)



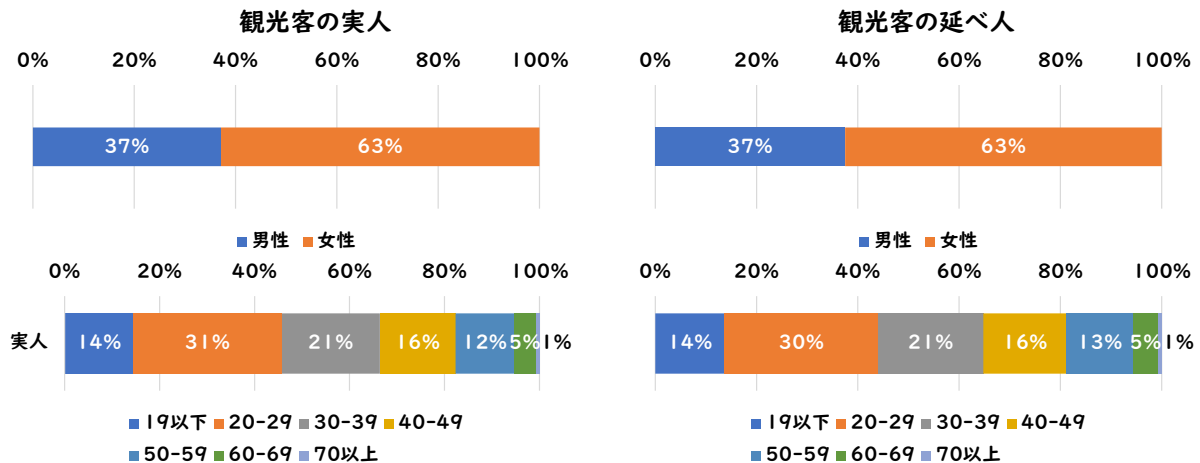
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-34 2024年の月別沖縄県外居住者の観光客数の推移

2) 性別・年代

観光客の男女比は、実人と延べ人ともに男性 37%、女性 63%である。観光客の年代比は、実人と延べ人ともに 20 代が最も高く約 30%である。次いで 30 代の 21%である。ただし、性別・年齢は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。(図 3-35)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図 3-35 2024 年の沖縄県外居住者の観光客の性別構成比（上：性別 下：年代）

3) 居住地

観光客の県外居住地に着目すると、東京都、愛知県、神奈川県、大阪府が 2019 年、2023 年、2024 年で 1 位から 4 位である。(図 3-36、図 3-37)

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	東京都	231,359	東京都	361,603	東京都	274,799
2位	大阪府	141,029	大阪府	215,081	大阪府	166,095
3位	愛知県	136,604	神奈川県	189,495	神奈川県	161,232
4位	神奈川県	132,275	愛知県	178,566	愛知県	149,484
5位	福岡県	106,807	福岡県	123,927	埼玉県	108,608
6位	埼玉県	93,749	埼玉県	122,183	福岡県	103,727
7位	千葉県	88,033	千葉県	118,310	千葉県	102,329
8位	兵庫県	82,962	兵庫県	114,764	兵庫県	88,948
9位	北海道	50,510	北海道	64,729	静岡県	48,696
10位	静岡県	42,133	京都府	57,645	京都府	40,136

図 3-36 2024 年県外観光客の居住地（実数）

順位	2019年		2023年		2024年	
	居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
1位	東京都	303,754	東京都	378,537	東京都	353,262
2位	愛知県	177,080	大阪府	247,962	神奈川県	201,649
3位	大阪府	174,760	神奈川県	222,449	大阪府	199,263
4位	神奈川県	172,828	愛知県	209,485	愛知県	190,970
5位	福岡県	129,900	埼玉県	144,408	埼玉県	135,370
6位	埼玉県	123,911	福岡県	139,218	福岡県	123,911
7位	千葉県	114,661	千葉県	136,370	千葉県	123,437
8位	兵庫県	98,796	兵庫県	130,001	兵庫県	107,636
9位	北海道	68,715	北海道	79,950	北海道	72,383
10位	静岡県	51,745	京都府	65,151	茨城県	61,136

図3-37 2024年県外観光客の居住地（延べ数）

4) 北谷町内宿泊者

沖縄県外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2019年で約63万人から2023年で約54万人、2024年で約31万人と推移している。

沖縄県外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数（人泊数）は、2019年で約85万人から2023年で約72万人、2024年で約41万人と推移している。（図3-38）

2024年における沖縄県外居住者の観光客の月別推移は、4月から6月の来訪観光客が他の月と比べ少ない。（図3-39）

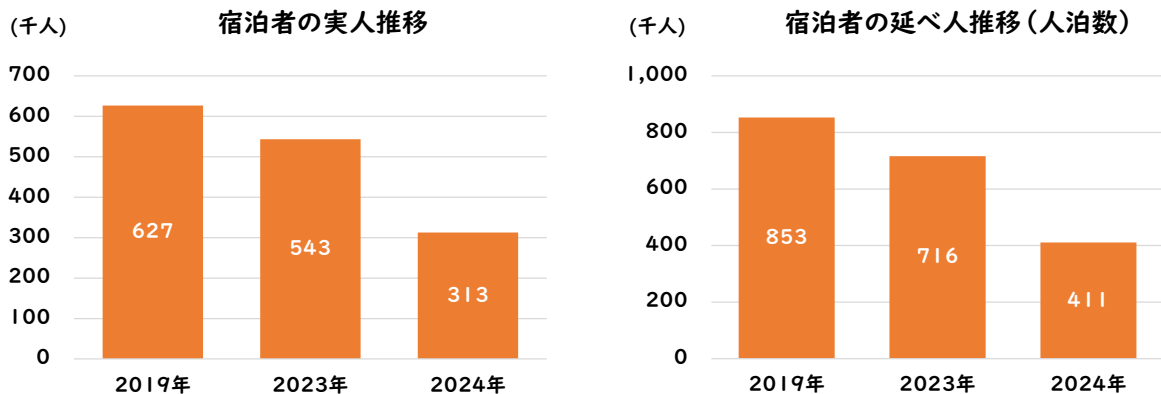
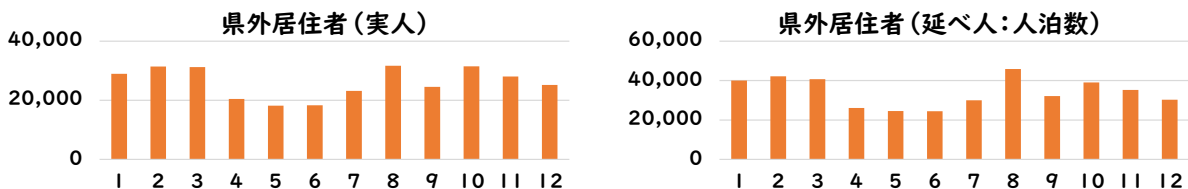


図3-38 沖縄県外居住者の観光客数の推移（年別）

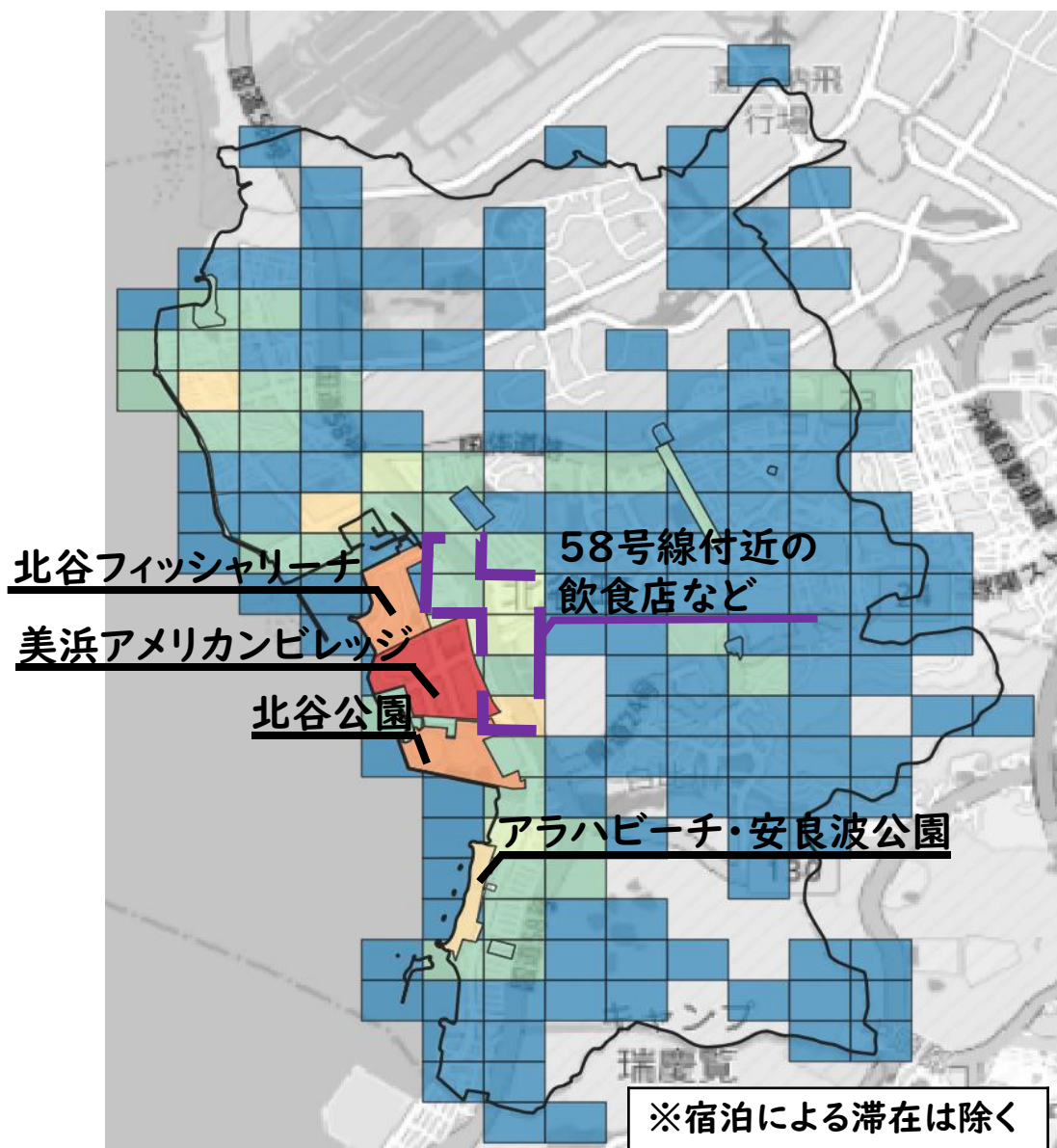


※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-39 2024年の月別沖縄県外居住者の観光客数の推移

5) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 185 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 64%ともっとも高い。次いで、北谷フィッシャリーナは、約 35 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 12%である。また、北谷公園やアラハビーチ・安良波公園も他の観光スポット比べ滞在者が多く、北谷公園で約 8 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 3%、アラハビーチ・安良波公園で 5 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 2%である。(図 3-40)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%
北谷公園	26,008	84,922	2,905	113,835	4%	3%	0%	2%
アラハビーチ・安良波公園	13,727	46,464	10,841	71,032	2%	2%	1%	1%

※県外居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-40 沖縄県外居住者の滞在場所

6) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の72%である。上位5位までで、全体の92%をカバーしている。(表3-10、図3-41)

表3-10 観光スポット間移動上位10位

上位10位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	273,522	72%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	25,521	7%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	19,514	5%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	17,476	5%
5位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	11,614	3%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄北谷公園	10,047	3%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	5,507	1%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄宮城海岸	1,871	0.4%
9位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	1,865	0.3%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	1,810	0.2%

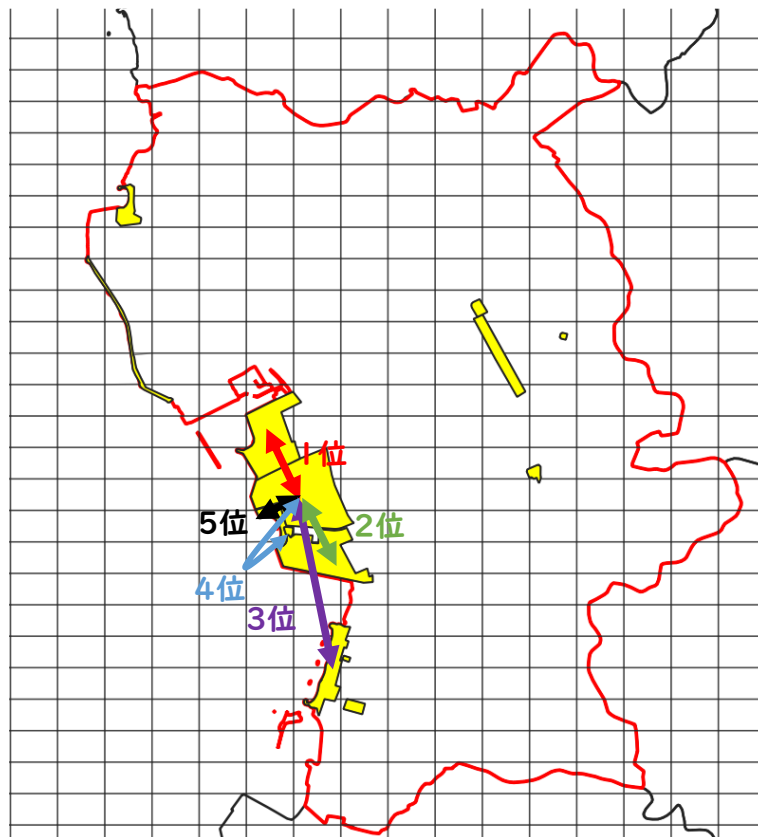


図3-41 観光スポット間移動上位5位

7) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城などの観光施設の割合が高い。

年別に見ると2019年は、那覇空港が最も高いが、2023年と2024年は国際通りである。各年の1位から3位は「那覇空港」「美ら海水族館」「国際通り」である。(表3-11)

表3-11 年別北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位5位

上位5位	2019年		2023年		2024年	
	観光地	比率	観光地	比率	観光地	比率
1位	那覇空港 (那覇市)	4%	国際通り (那覇市)	5%	国際通り (那覇市)	3%
2位	美ら海水族館 (本部町)	3%	那覇空港 (那覇市)	5%	美ら海水族館 (本部町)	3%
3位	国際通り (那覇市)	2%	美ら海水族館 (本部町)	3%	那覇空港 (那覇市)	2%
4位	ラグナガーデン (宜野湾市)	1%	首里城 (那覇市)	2%	首里城 (那覇市)	1%
5位	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%	リザンシーパー ク谷茶ベイ (恩納村)	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(4) 沖縄県外居住者の観光動態

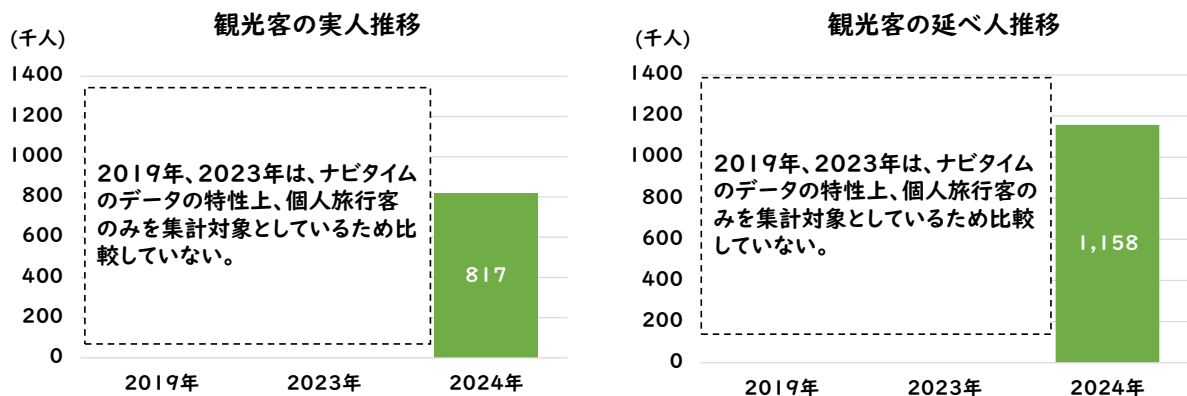
北谷町観光客のうち、海外居住者に着目し、集計を行う。

1) 観光客数

海外居住者の観光客実人数は、2024年で約82万人となっている。

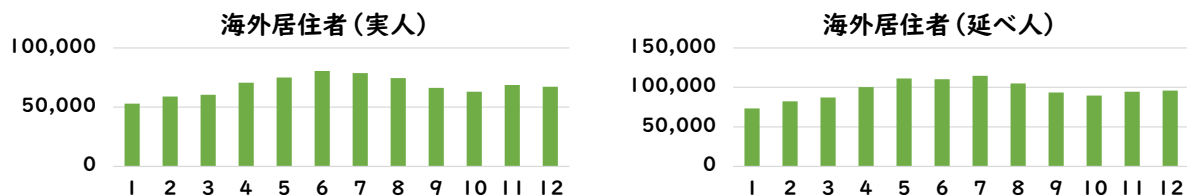
海外居住者の観光客延べ人数は、2024年で約116万人となっている。(図3-42)

2024年における海外居住者の観光客の月別推移は、7月の来訪観光客が他の月と比べ最も多い。1年を通して、閑散期があまりない。(図3-43)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-42 海外居住者の観光客数の推移（年別）



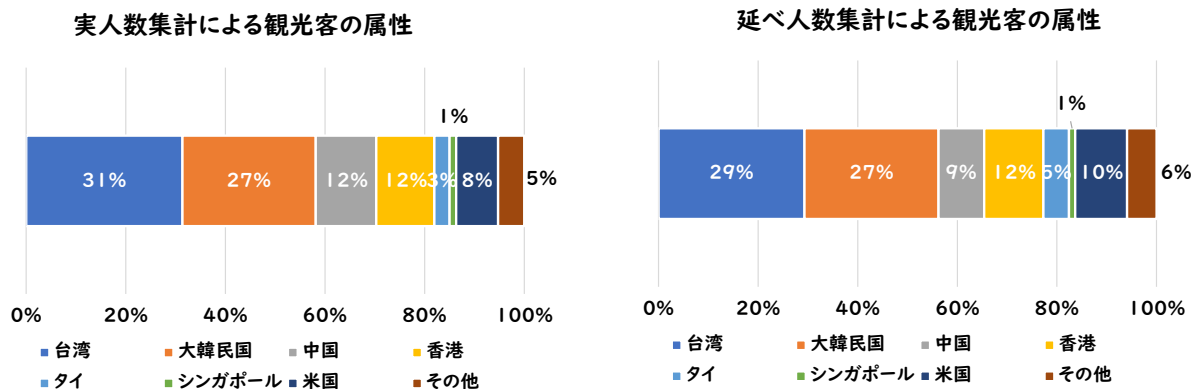
※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

図3-43 2024年の月別海外居住者の観光客数の推移

2) 居住地

台湾からの来訪が最も高く全体の約3割であり、次いで韓国も同程度である。全体としてアジア圏からの来訪が多く、全体の8割である。(図3-44)



※延べ観光客は、北谷町を訪れた人を日別に合計したもの

図3-44 2024年の海外居住者の観光客の居住地

3) 北谷町内宿泊者

海外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した実人数は、2024年で約29万人である。

海外居住者の観光客のうち、北谷町内に宿泊した延べ人数(人泊数)は、2024年で約43万人である。(図3-45)

2024年における海外居住者の観光客の月別推移は、7月の来訪観光客が他の月と比べ最も多い。(図3-46)

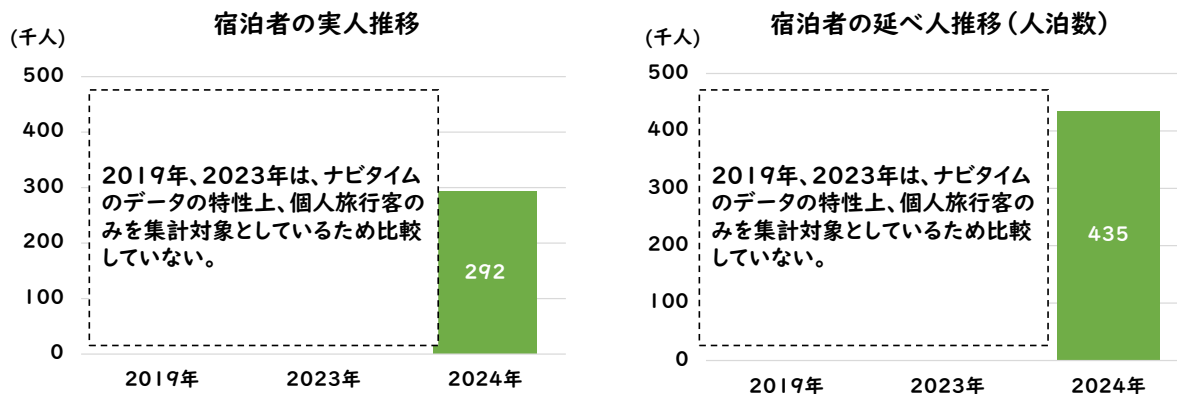
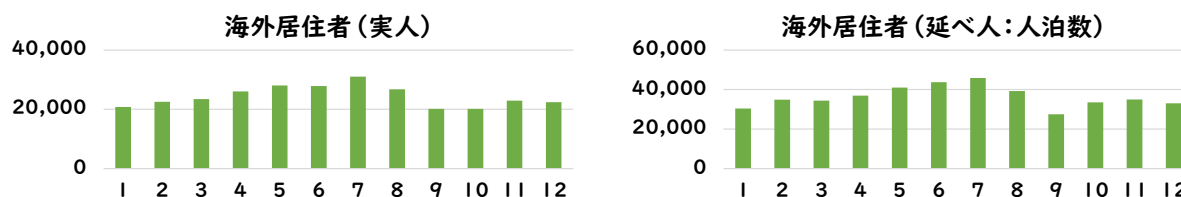


図3-45 年別北谷町内宿泊者数の推移



※1月31日～2月1日の来訪のように月を跨ぐ場合、到着月の1月で集計

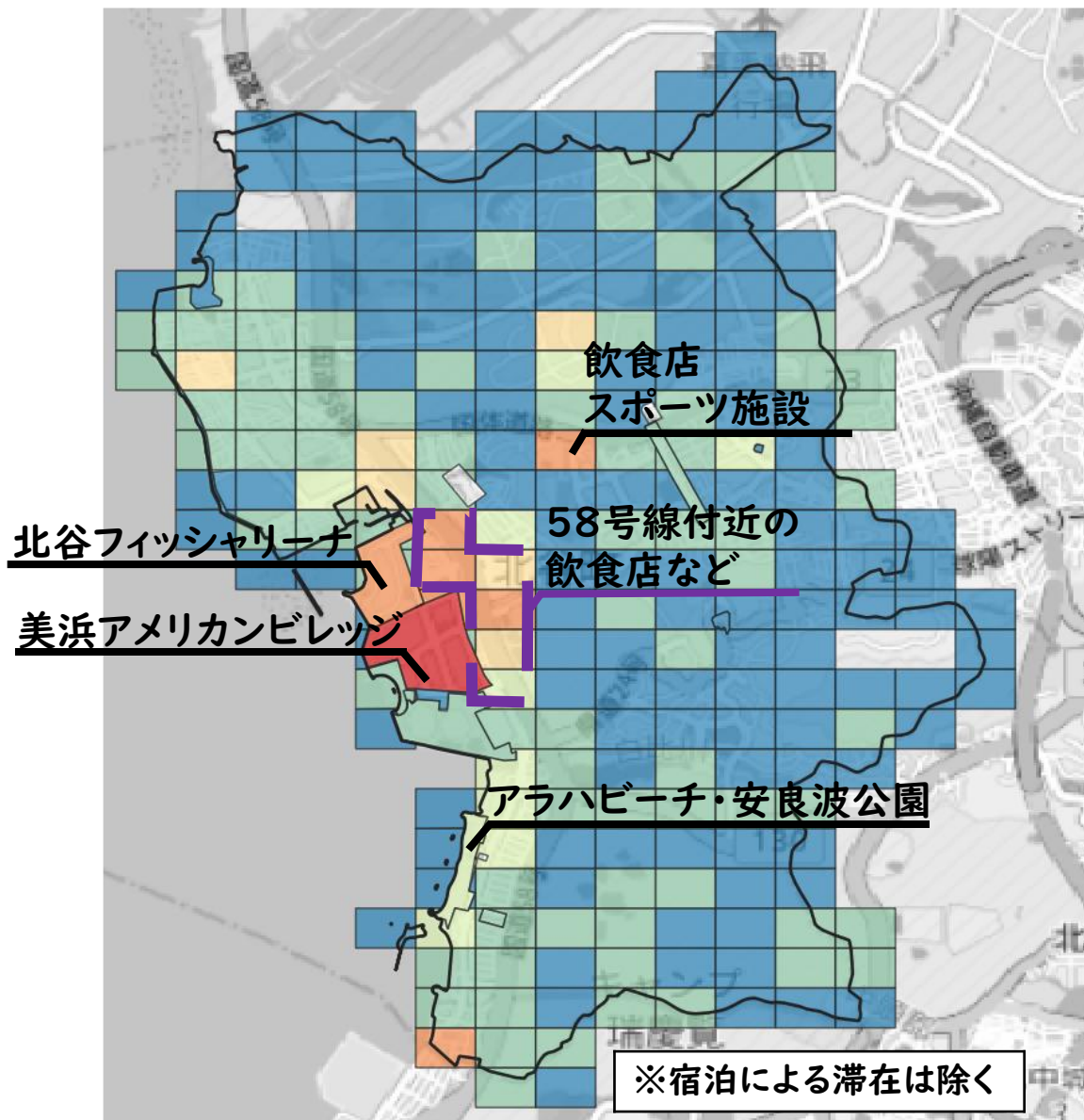
図3-46 2024年の月別海外居住者の観光客数の推移

4) 滞在場所

美浜アメリカンビレッジは、約 48 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 32%である。

北谷フィッシャリーナは、約 35 万人の滞在があり、北谷町滞在延べ人数の約 11%である。

(図 3-47)



観光スポット	県内居住者 滞在延べ数	県外居住者 滞在延べ数	海外居住者 滞在延べ数	滞在延べ数 (県内+県外+海外)	県内居住者 比率	県外居住者 比率	海外居住者 比率	滞在延べ数比率 (県内+県外+海外)
美浜アメリカンビレッジ	257,221	1,852,088	477,036	2,586,345	41%	64%	32%	52%
北谷町フィッシャリーナ	37,883	350,108	158,204	546,195	6%	12%	11%	11%

※海外居住者比率が1%以上の観光スポットを表で表示

図 3-47 海外居住者の滞在場所

5) 観光スポット間の移動状況

美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ間の移動が最も高く全体の85%である。上位10位までで、全体の97%をカバーしている。(表3-12、図3-48)

表3-12 観光スポット間移動上位10位

上位5位	周遊	延べ人数	比率
1位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷フィッシャリーナ	79,595	85%
2位	美浜アメリカンビレッジ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	5,958	6%
3位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンセットビーチ	2,445	3%
4位	美浜アメリカンビレッジ⇄アラハビーチ・安良波公園	2,274	4%
5位	北谷フィッシャリーナ⇄アラハビーチ・安良波公園	1,163	1%
6位	北谷フィッシャリーナ⇄テルメヴィラちゅら一ゆ	352	0.4%
7位	北谷フィッシャリーナ⇄サンセットビーチ	264	0.3%
8位	美浜アメリカンビレッジ⇄北谷公園	260	0.2%
9位	美浜アメリカンビレッジ⇄ユニオン北谷店	194	0.2%
10位	美浜アメリカンビレッジ⇄サンエーハンビータウン	166	0.1%

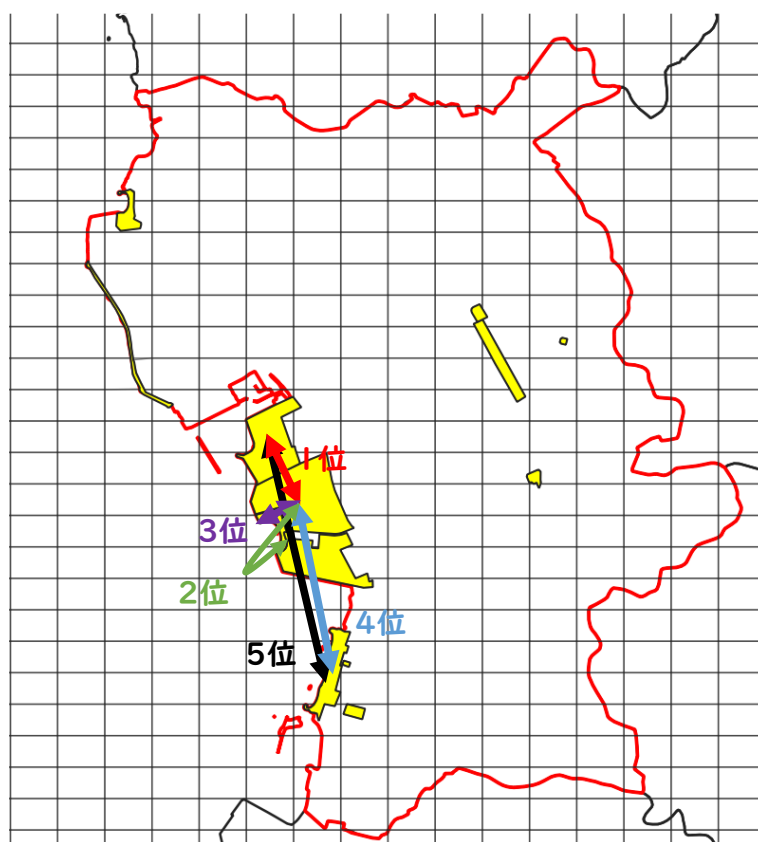


図3-48 観光スポット間移動上位5位

6) 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況

国際通り、美ら海水族館、首里城などの観光施設の割合が高い。(表3-13)

表3-13 北谷町観光スポットと町外観光スポット間の周遊状況上位10位

上位5位	町外観光スポット	比率
1位	イオンモール沖縄ライカム(北中城村)	3%
2位	国際通り(那覇市)	2%
3位	美ら海水族館(本部町)	2%
4位	首里城(那覇市)	1%
5位	那覇空港(那覇市)	1%

※滞在が多い施設についても表示している。

(5) シーポートちやたんカーニバルの分析

1) 分析対象日と分析対象場所

分析を行うシーポートちやたんカーニバルは2019年7月13日～14日、2024年9月28日～29日に開催されている。なお、シーポートちやたんカーニバルについては、観光客以外として除外した「北谷町民」、「通勤者や納品者」、「長期滞在者」も対象として集計している。

分析対象の場所は、開催場所であるサンセットビーチを対象とした。下図のオレンジ色のメッシュ部分（図3-49）である。



図3-49 分析対象の場所

2) シーポートちやたんカーニバル開催期間中のサンセットビーチ延べ来訪者

2019年のイベント開催期間中にサンセットビーチを訪れた人数は20,008人観測された。

2024年のイベント開催期間中にサンセットビーチを訪れた人数は33,795人観測された。

(表3-14)

表3-14 サンセットビーチ来訪者数

年	来訪者数	比
2019	20,008 人	
2024	33,642 人 (日本人) 153 人 (海外)	1.69 (2024 年/2019 年)

（６）中日ドラゴンズ春季キャンプの分析

中日ドラゴンズ春季キャンプは、2019年2月1日～2月27日、2023年2月1日～2月26日、2024年2月1日～25日に北谷公園（Agre スタジアム北谷）で行われている。

１）キャンプ期間中の北谷町来訪者

2019年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、255,957人であった。

2023年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、334,537人であった。

2024年に行われた中日ドラゴンズ春季キャンプの北谷町来訪者数は、268,414人であった。

（表3-15）

表3-15 キャンプ期間中の北谷町来訪者数

年	来訪者数	比
2019	255,957人	
2023	334,537人	1.31 (2023年/2019年)
2024	268,414人	1.05 (2024年/2019年)

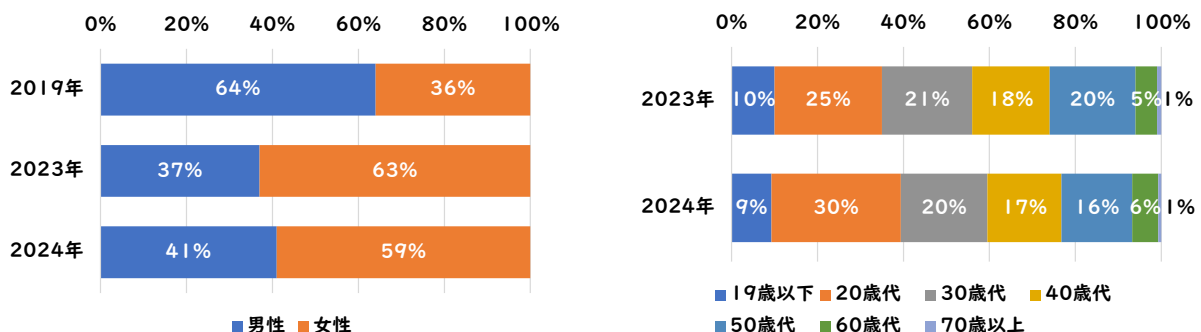
※1度北谷町外に出て再び北谷町内を訪れた場合、町内を出た日と再び訪れた日が同じならば1カウントとして集計。

キャンプ期間中の来訪者の男女比を見ると、2019年は女性より男性の方が高いが、2023年、2024年では、男性より女性の割合が高くなっている。

年齢構成比を見ると、20代が最も高く25%であり、次いで30代の21%である。30代以下で全体の56%である。

2024年キャンプ期間期間中の来訪者の男女比を見ると、男性より女性の方が高い。年齢構成比を見ると、20代が最も高く30%であり、次いで30代の20%である。30代以下で全体の59%である。

ただし、性別と年齢は一部のデータのみ取得が可能のため、注意が必要である。（図3-50）



*1度北谷町に出て再び北谷町を訪れた場合、町内を出た日と再び訪れた日が同じならば1カウントとして集計。

図3-50 キャンプ期間中の北谷町来訪者の性別と年代の構成比

2) 春季キャンプに訪れた人の宿泊状況

春季キャンプに訪れた観光客が北谷町内に宿泊しているか確認するため、春季キャンプ期間中に北谷公園を訪れた観光客の宿泊場所について分析を行った。

2019年では20,319人の町内宿泊があったが、2023年では14,794人、2024年では14,635人と推移しており、減少傾向である。(図3-51)

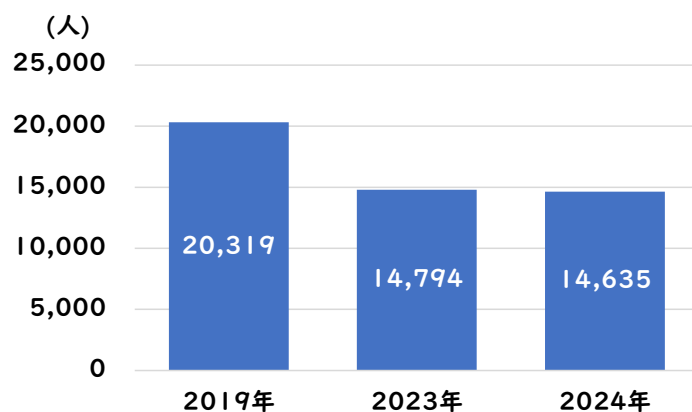


図3-51 宿泊した人数の推移（人泊数（県内・県外居住者））

(7) リピーターの観光特性

1) リピーター率

2019年、2023年、2024年の3年のうち1回でも北谷町に滞在があったサンプルは、約135,789であった。

そのうち少なくとも2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルは3,985サンプル（リピート率約3%）であった。また、3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルは58サンプル（リピート率約0.04%）であった。（表3-16）

表3-16 リピート率

	サンプル数	リピート率
2019年、2023年、2024年に1回でも 北谷町に滞在があった	135,789	
2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年 と2024年）北谷町に滞在があった	3,985	3%
3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在が あった	58	0.04%

2) リピーターの観光特性

2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルに着目すると、平均来訪日数は1回目で1.61、2回目で1.57と減少している。来訪1日当たりの滞在場所数は、1回目で1.01、2回目で0.96と減少している。以上のことから、リピートするほど来訪日数が減少し、訪れる滞在場所も少なくなることが分かった。

3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプルに着目すると、平均来訪日数は1回目で2.00、2回目で2.06、3回目で2.03と推移している。来訪1日当たりの滞在場所数は、1回目で1.20、2回目で1.1、3回目で0.95と減少している。以上のことから、来訪日数は約2日と変わらないが、訪れる滞在場所が少なくなることが分かった。（図3-17、図3-18）

表3-17 2回（2019年と2023年、2019年と2024年、2023年と2024年）

北谷町に滞在があったサンプル

	サンプル数	来訪日数 合計	滞在場所 合計	平均 来訪日数	滞在場所/ 来訪日数
1回目	3,985	6,423	6,523	1.61	1.01
2回目		6,260	6,003	1.57	0.96

表3-18 3回（2019年と2023年と2024年）北谷町に滞在があったサンプル

	サンプル数	滞在日数 合計	滞在场所 合計	平均 滞在日数	滞在场所/日数
1回目	58	116	139	2.00	1.20
2回目		120	132	2.06	1.1
3回目		118	112	2.03	0.95

（8）サンセットビューライン間の移動

1）サンセットビューライン構想

約7キロの美しい海岸線や商業・リゾート施設に抱かれた北谷町の西海岸地域において、「砂浜・宮城エリア」「美浜エリア」「北前エリア」の3つのエリアに分け、取り組んでいる事業や検討している事業を有機的に結び付け、統一的に進めるために、「サンセットビューライン構想」を位置付けて取り組んでいる。（図3-52）



図3-52 サンセットビューライン構想の3つのエリアと事業

3) サンセットビューラインの分析場所

サンセットビューライン構想における西海岸地域の3つのエリアを下図のように分け、分析対象場所とし、エリア間の移動量を分析した。(図3-53)

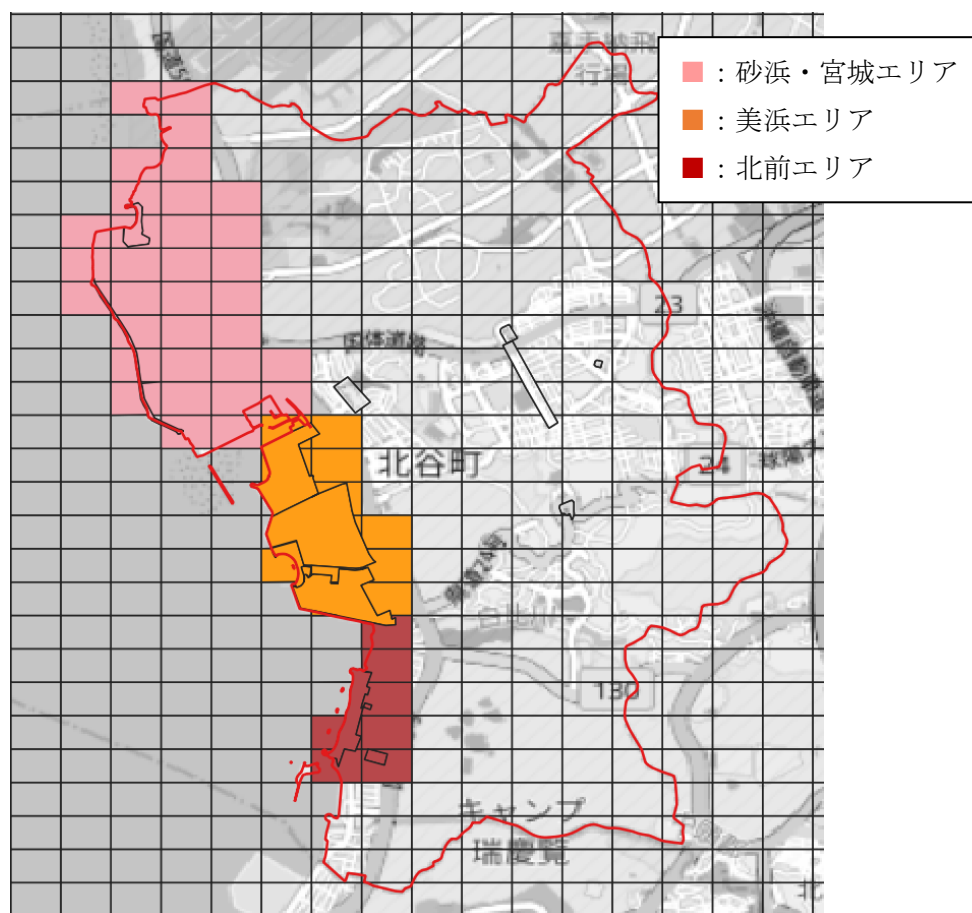


図3-53 サンセットビューライン構想における分析対象場所

4) サンセットビューライン間の移動

3つのエリア内の移動のみ着目すると、砂浜・宮城エリア内の移動量は65,986であり北谷町内移動の約5%である。美浜エリア内の移動量は761,991であり北谷町内移動の約58%である。北前エリア内の移動量は11,332であり北谷町内移動の約1%である。

3つのエリア内間の移動のみ着目すると、砂浜・宮城エリア⇄美浜エリアの移動量は83,134であり北谷町内移動の約6%である。砂浜・宮城エリア⇄北前エリアの移動量は3,420であり北谷町内移動の約0.3%である。北前エリア⇄美浜エリアの移動量は32,077であり北谷町内移動の約3%である。(表3-19)

以上のことから、北谷町内移動の約64%は特定エリア内の移動であり、サンセットビューライン間の移動は北谷町内移動の約9%である。

表3-19 サンセットビューライン間の移動

	移動量	比率
北谷町内の移動	1,305,897	
砂浜・宮城エリア内の移動	65,986	5%
美浜エリア内の移動	761,991	58%
北前エリア内の移動	11,332	1%
砂浜・宮城エリア⇄美浜エリア	83,134	6%
砂浜・宮城エリア⇄北前エリア	3,420	0.3%
美浜エリア⇄北前エリア	34,077	3%

(9) 集計ツールの作成

これまで集計した観光客について、居住地、性別、年齢、月別北谷町来訪者数、流入、流出について関係者が容易に活用できるように、Excelのグラフを用いダッシュボードを作成した。宿泊・日帰り、居住地、年、月、日、曜日については、クリックすることで自動的に抽出された集計結果が表示される。

さらに、観光スポットに関しても同様なダッシュボードを作成することで、より詳細に任意で分析が可能となる。(図3-54、図3-55)

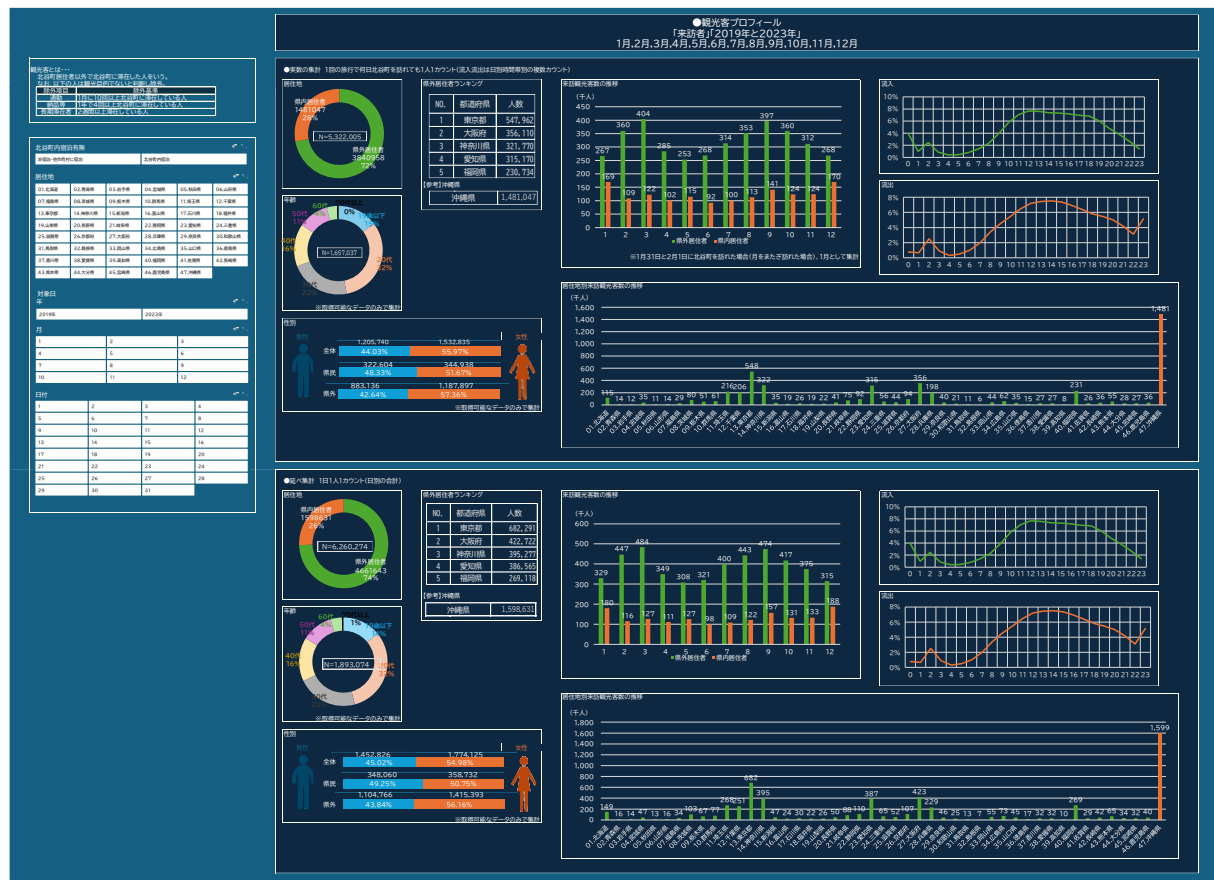


図3-54 観光客用ダッシュボード

図3-55 観光スポット用ダッシュボード



4章 観光客満足度・消費動向調査

本章では、北谷町の観光動向（内部環境）として、町内でアンケート調査を実施し、人流ビッグデータでは把握できない観光満足度や観光目的などの質的なデータ）を把握している。

5-1 調査企画

(1) 調査の企画

1) 調査目的

北谷町で発生している観光課題、消費実態を把握し、今後の観光施策を検討することを目的に、北谷町を来訪している観光客の実態を観光満足度、消費額等を把握する。

2) 調査対象者

北谷町を来訪している観光客を対象とするため、町内居住者は対象外とした。

また、修学旅行等の団体旅行も対象とするが、団体移動の実態に偏る恐れがあるため、団体旅行者については、一部の対象にとどめる。

3) サンプル数設計

令和5年度と同様に RESAS による 2022 年の滞在人口（観光客母数）から北谷町の観光客数を約 100 万人と仮定し、母集団構成に対する誤差の許容範囲を 10%、信頼度係数を 1.64（100 回調査をして 90 回が母平均に含まれる設定）、集計カテゴリー数を 10（性別 2 区分、年齢 5 区分として設定）とした際の統計的に必要なサンプル数を試算（表 4-1）した。

試算結果として、統計精度を担保できる必要サンプル数としては、2,400 サンプルが必要であるため、2,400 サンプルを獲得目標に設定した。

《サンプル数の計算式》

$$RSD = K \times \sqrt{(ZK - 1) \times (1 - r) \div r \div N}$$

表 4-1 サンプル設計指標の意味

指標	使用数値	意味
RSD：標準誤差	10%	母集団構成に対する誤差の許容範囲 *1：誤差率は、母集団構成に対しての誤差の範囲を示す。許容誤差 10%は一般的な数値であり、通常、5～10%で設定する。
K：信頼度	1.64	100 回抽出を行い、90 回が母平均に含まれる数値 *2：信頼度 1.64 は一般的な数値であり、通常、1.64（90%） or 1.96（95%）で設定する。
N：母集団の大きさ	1,000,000 人	RESAS による 2022 年北谷町の観光客数
ZK：カテゴリー数	10	回答選択肢数で設定 *集計カテゴリーによって変動
r：標本率	0.1%	N（母集団）に占めるサンプル割合＝1,075 サンプル

4) 調査日時

本調査の調査日時および目標サンプル数、必要調査員数を以下に示す（表 4－2）。調査時間帯は観光客が多いと想定される 10 時頃～18 時頃に実施した。なお、調査実施の判断については、回収率および安全を考慮し、悪天候時は避けるものとし、調査前日（調査日が日曜日の場合は金曜日）の天気予報（11 時の気象台発表）をもとに協議決定した。

表 4－2 調査日

調査月	調査日および調査時期の想定		サンプル 目標数	調査員数 (合計)
	日程	日数		
9月	連休期間：9/21～9/23の3連休期間中うち2日間 ※ビーチエリアを中心に実施	2	480	12
10月	連休期間：10/12～10/14の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリア、ビーチエリアで均等に実施	2	480	12
11月	連休期間：11/2～11/4の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリアを中心に実施	2	480	12
12月	通常期：通常の週末1日間 ※リゾートエリアを中心に実施	1	240	6
1月	連休期間：1/11～1/13の3連休期間中うち2日間 ※リゾートエリアを中心に実施	2	480	12
2月	イベント期：ドラゴンズキャンプ期間のうち1日間 ※イベント会場付近を中心に実施	1	240	6
合計		10	2,400	60

5) 調査場所

本調査の調査地区および調査員配置予定の観光施設を以下（図 4－1）に示す。詳細な調査員配置位置を次ページに示す。なお、11 月上旬からサンセットビーチ改良工事が始まったため、ビーチ周辺でのアンケート調査は実施していない。



出典：baseMap(一社) 北谷町観光協会

図 4－1 調査予定箇所位置図



北前地区 アラハビーチ
ビーチおよび周辺公園に配置



砂辺地区 宮城海岸
防波堤周辺に配置



6) 調査方法

本調査の調査方法（手順）を以下に示す。

- i) 調査対象施設の来訪者に声を掛け、アンケート調査の協力依頼を行う。
- ii) 協力が得られたら、調査票を見せながら、ヒアリング調査を実施する。
協力が得られない場合は、無理強いを行わずヒアリング調査は実施しない。
- iii) 外国人の場合は、英語または中国語（繁体字）や韓国語に翻訳した調査票を用いてヒアリングを実施する。
*調査員は多言語対応な人員も配置する。
- iv) その場で回答をした方に対しては、調査協力の謝礼として粗品を提供する。

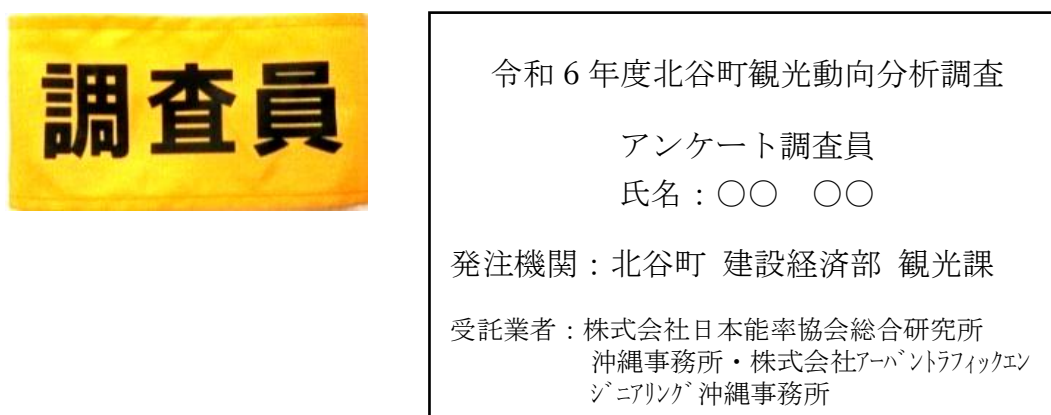


図4-2 調査で着用する調査員腕章・ネームプレートの例



図4-3 調査イメージ写真

7) 調査項目

調査目的を達成するため、アンケートは下表（表4－3）の項目を把握する。

調査で使用した調査票は参考資料に掲載する。

表4－3 調査項目

項目	内容
(1) 属性	性・年代、居住地、国籍、同行者
(2) 北谷町訪問経験	訪問回数（沖縄県、北谷町別）
(3) 滞在実態	滞在日数・時間、宿泊施設タイプ
(4) 観光目的	海水浴・マリンレジャー、ダイビング、釣り、スパ・エステ、伝統工芸・芸能体験、ショッピング、イベント、伝統行事、帰省・親戚等の訪問、仕事、ワーケーション、プロスポーツキャンプ見学 等
(5) 移動手段	北谷町来訪、北谷町内別（レンタカー、マイカー、タクシー、バス、自動運転バス、自転車、徒歩等）
(6) 町内観光の情報 収集媒体	雑誌、パンフレット、観光案内所、テレビ、SNS 等
(7) 町内での観光 消費額	宿泊費、交通費、土産・買物費、飲食費、娯楽・入場費、その他
(8) 観光満足度 (各5段階)	宿泊、飲食、買い物、娯楽・イベント、情報、総合
(9) 再訪問意向	次回の訪問意向、再訪問の理由
(10) お勧め度	11段階のお勧め度、お勧めする要素
(11) 受入れ環境整備 (外国人のみ)	看板、パンフレット、観光情報HP、バス停時刻表、観光案内所、飲食店、土産・土産店、宿泊施設の多言語対応の充足度

5-2 調査結果

(1) 獲得サンプル数

調査の結果、以下のサンプル数を獲得し、統計精度を担保できるサンプル数を確保した。

調査日	獲得票数		
	日本人	外国人	合計
9月21日(土)	212	18	230
9月22日(日)	230	15	245
10月12日(土)	198	28	226
10月13日(日)	233	14	247
11月2日(土)	181	86	267
11月3日(日)	213	39	252
12月21日(土)	162	43	205
1月11日(土)	190	54	244
1月12日(日)	214	33	247
2月1日(土)	212	61	273
合計	2,045	391	2,436

(2) 調査の様子

調査当日の様子は、以下のとおりである。



5-3 調査分析

本項目では主な集計結果を示している。

なお、調査結果については、誤差の許容範囲を 10% として設計しているため、カテゴリー（クロス集計軸）が 10 以内の場合は、集計値の±10%内に真値があるものとなる。

（1）回答者属性

① 性・年代

- 昨年と異なり、調査回答者の男女比（図 4-5）は、同程度となっている。
- 年代（図 4-6）は 10～30 代と比較的若年層の割合が高く、男性女性ともに 10～30 代で半数以上を占めている。

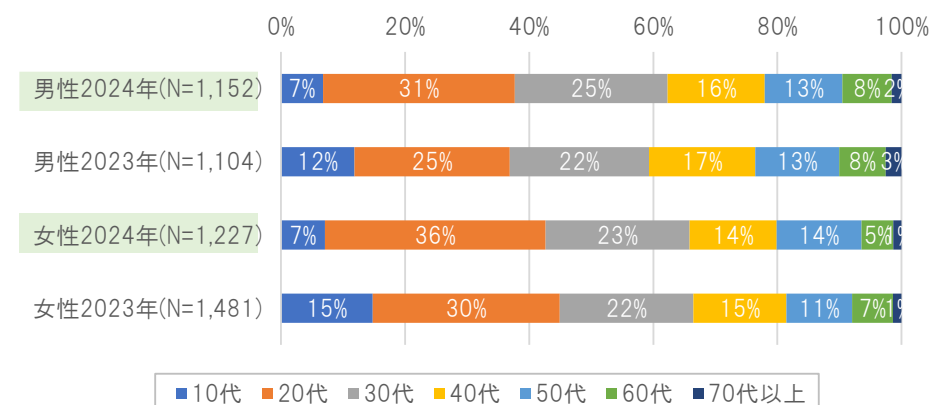


図 4-4 性・年代

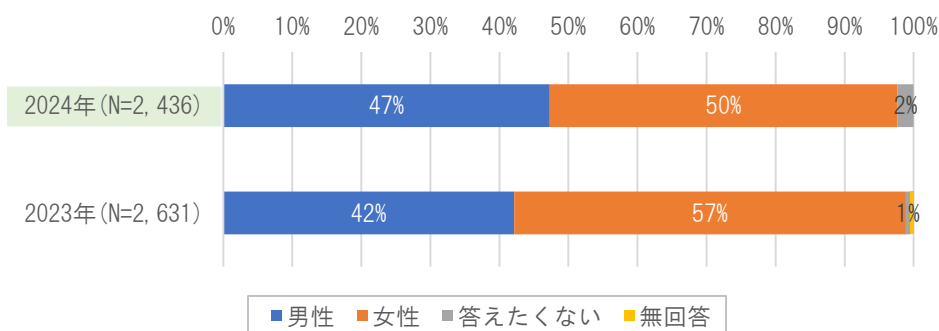


図 4-5 性別

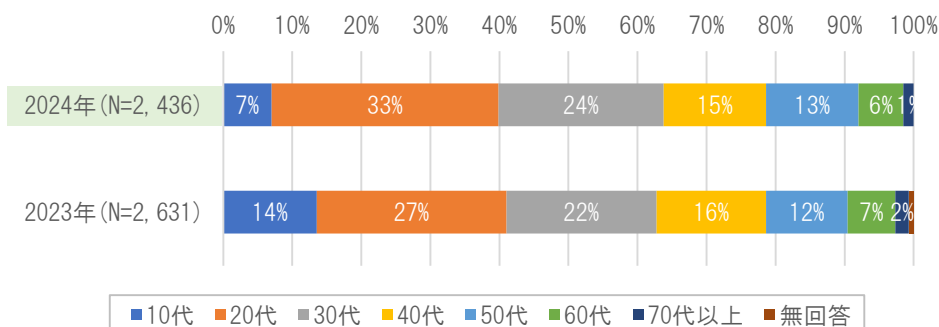


図 4-6 年代

- 昨年と同様、居住地別（図4－7）でみても県内観光客、県外観光客、訪日外国人観光客ともに10～30代までの年齢層で半数以上を占める。
- 令和4年度観光統計実態調査報告書（沖縄県）では、県内全域における県外観光客の年齢構成は、10～30代で約41%であり、今回の調査結果は約62%であることから、相対的に若年層の割合が高い。

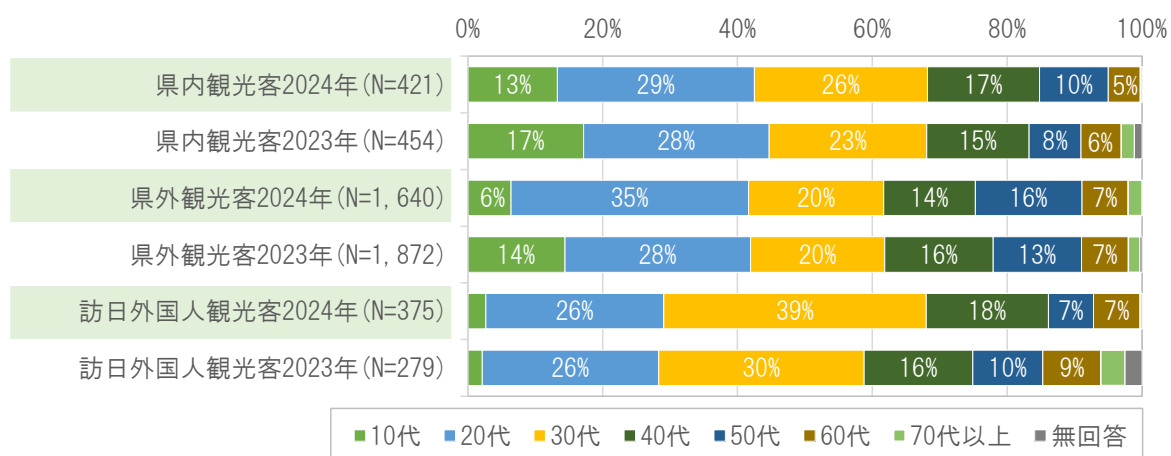


図4－7 居住地別の年代

② 居住地

- 居住地（図4-8）は昨年と同様に、『県外観光客』が約70%、『県内観光客』が約17%となっている。
- 県外観光客（図4-9、図4-11）についても、昨年度同様、『首都圏』が約36%と最も高く、『近畿圏』が約15%、『中京圏』が約12%、『福岡県』が約8%と首都圏の比率が半数程度を占める。
- 県内観光客（図4-10）についても、昨年同様、『那覇市』が約24%と最も高く、隣接の『宜野湾市』、『沖縄市』が続いている。
- 訪日外国人観光客（図4-12）については、昨年度と順番が若干変わっており、『台湾』が約48%と最も高く、次いで、『中国』が約12%、『アメリカ』が約11%、『韓国』が約9%、『香港』が約7%、アメリカと東アジアの国・地域で9割程度を占める。

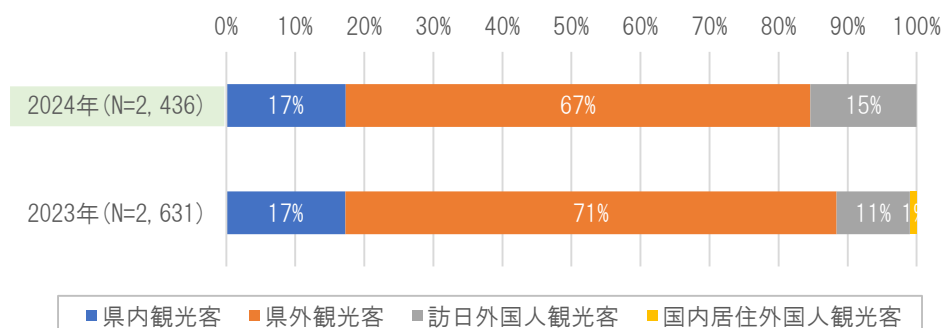


図4-8 居住地

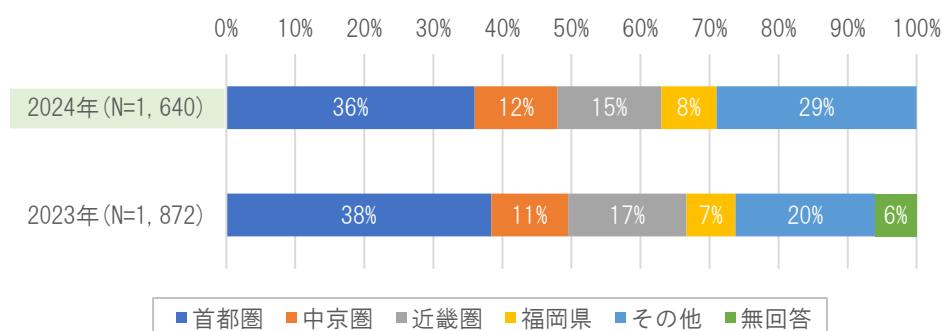


図4-9 県外観光客の居住地分類

- * 首都圏は、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県が対象。
- 中京圏は、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県が対象。
- 近畿圏は、京都府、大阪府、兵庫県が対象。

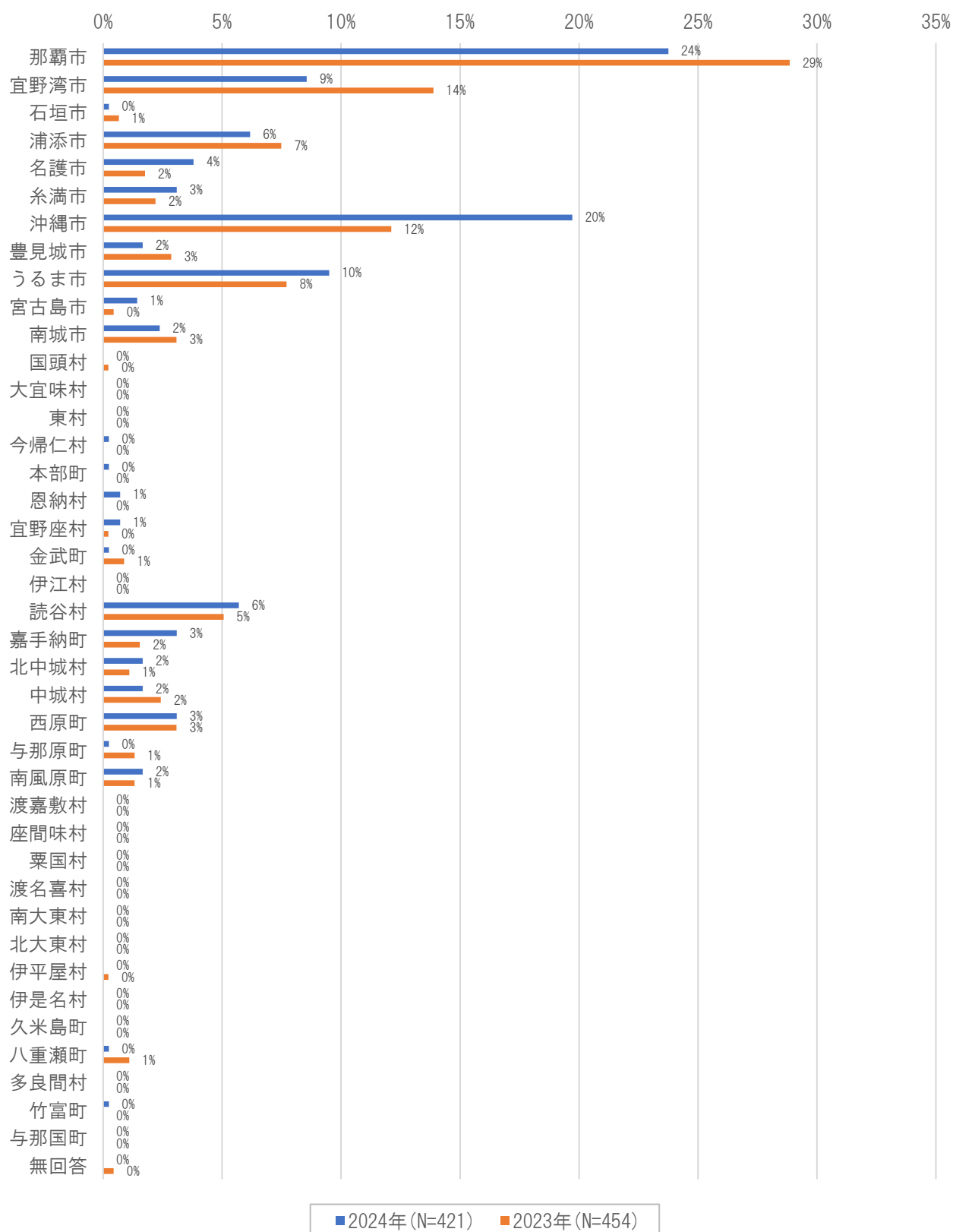


図4-10 県内観光客の居住地

4章 観光客満足度・消費動向調査

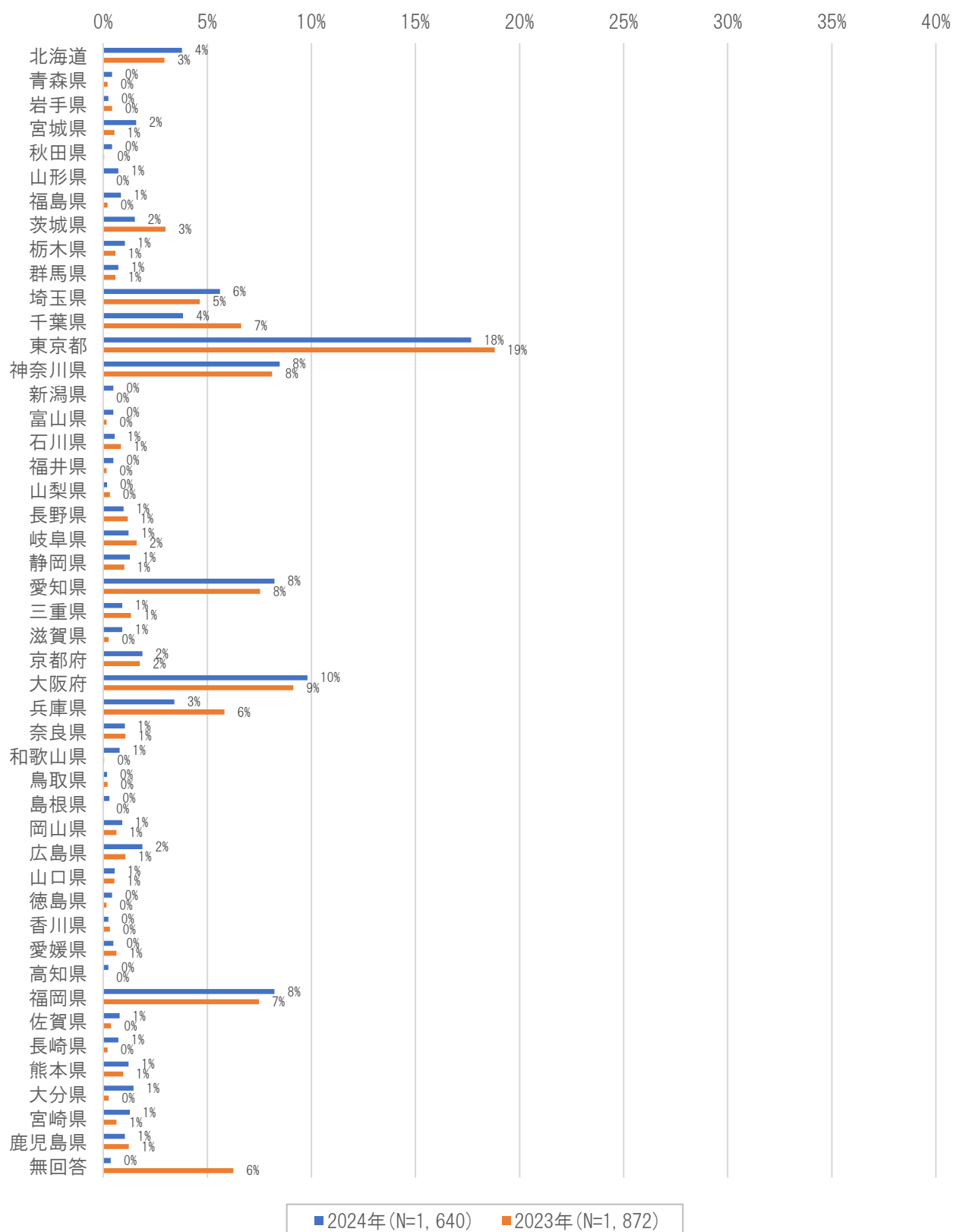


図4-11 県外観光客の居住地

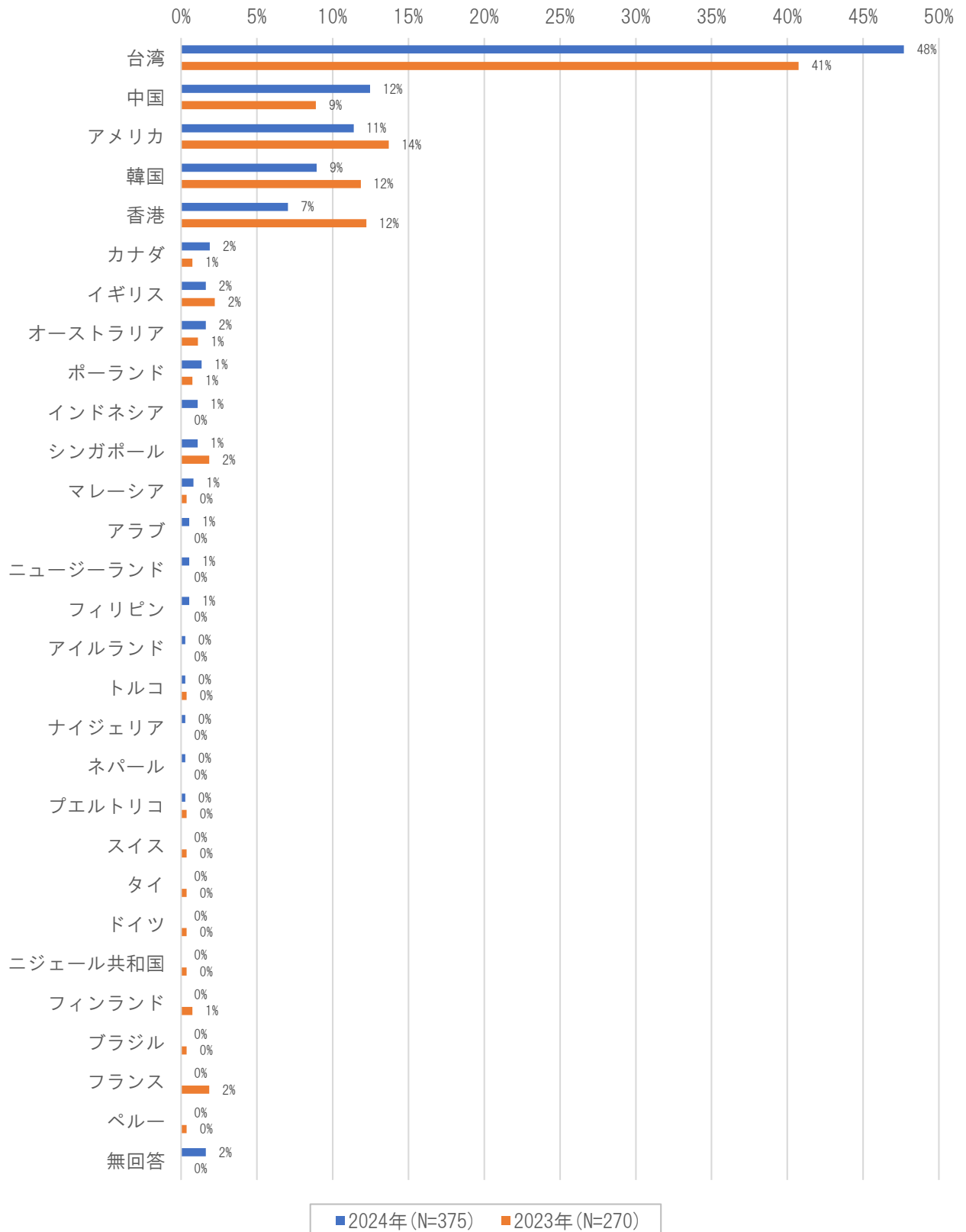


図4-12 訪日外国人観光客の居住地

③ 同行者

- 昨年と同様、『複数人グループ』が約92%と圧倒的に高く、人数構成としては『2人』の割合が約41%と最も高い。(図4-13、図4-14)
- 昨年と同様、同行者属性(図4-15)は、『家族(子連れ)』が約31%と最も高いが、『夫婦・カップル』も約28%と高く、とファミリー層の割合が高い。

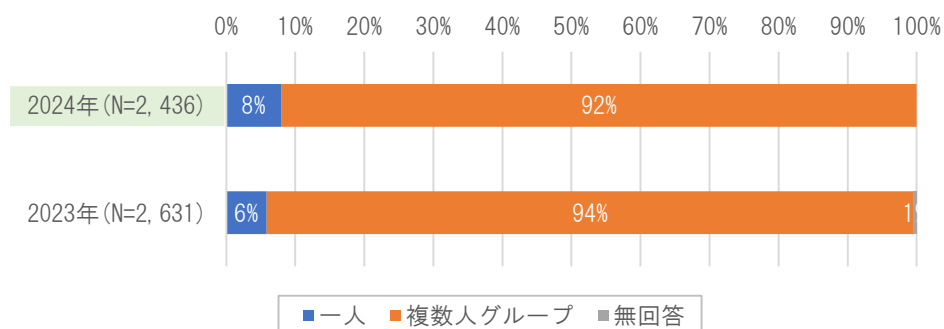


図4-13 グループ人数形態

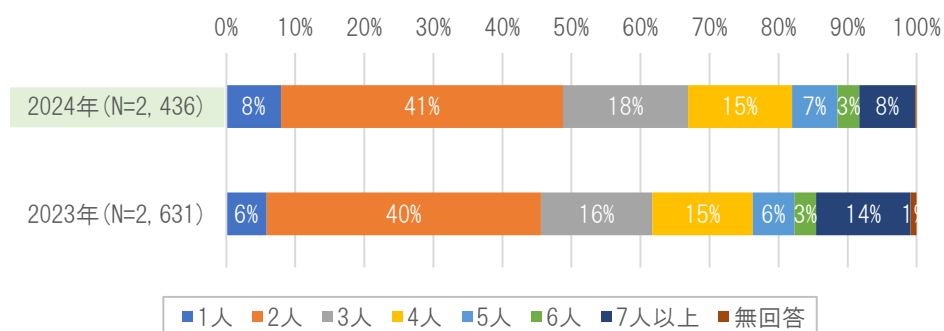


図4-14 グループ人数

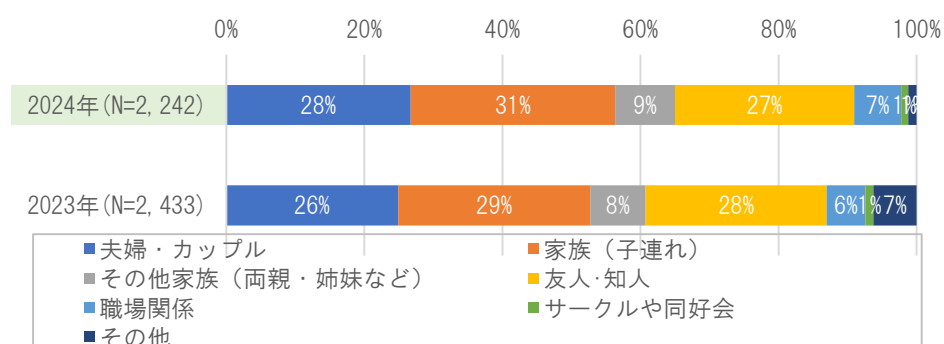


図4-15 同行者

- 昨年と同様、県内観光客は「友人・知人」が多く、県外観光客は「夫婦・カップル」、「家族（子連れ）」、「友人・知人」が約 26～28%程度と多様な同行者構成となっている。（図 4－16）
- 訪日外国人観光客は昨年度同様「家族（子連れ）」が最も割合が高い。（図 4－16）

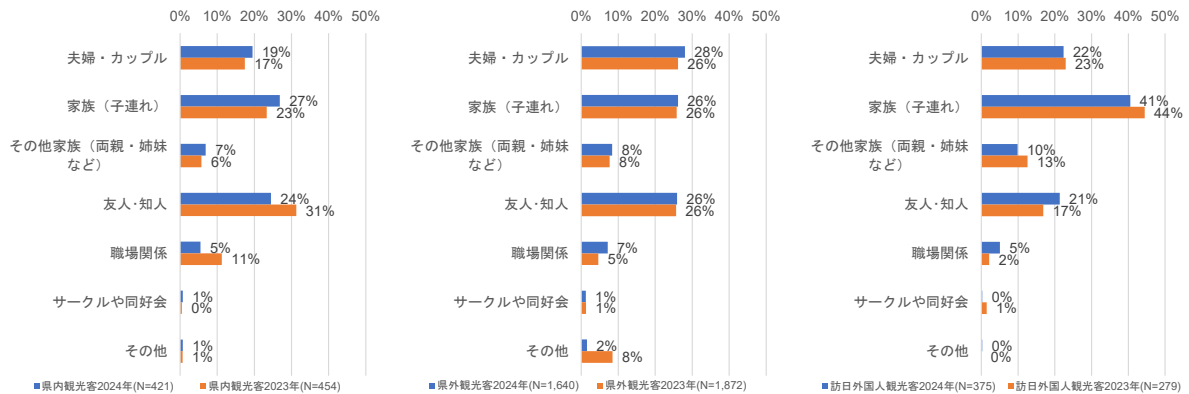


図 4－16 居住地別の同行者（左：県内観光客、中央：県外観光客、右：訪日外国人観光客）

(2) 北谷町訪問経験

《県外居住者のみで整理》

- 北谷町を訪れる観光客の沖縄県訪問回数（図4-17）は、『初めて』が約40%に対し、複数回の訪問が約60%を占めるなどリピーターが多い。
- 一方、北谷町の訪問回数（図4-18）は、『初めて』が約63%と沖縄県訪問回数と比較して高い傾向にある。ただし、複数回の訪問も約37%を占めるなどリピーターは一定数存在する。
- なお、北谷町に初めて訪問する観光客の6割は、昨年同様、沖縄県に初めて来る観光客となっている。（図4-19）

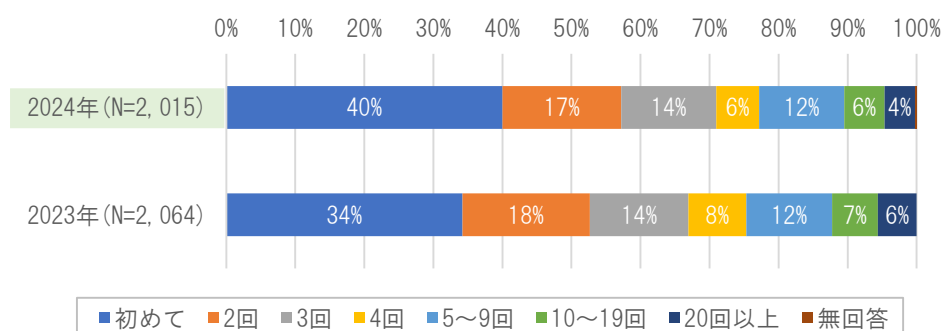


図4-17 沖縄県訪問回数（県外居住者のみ）

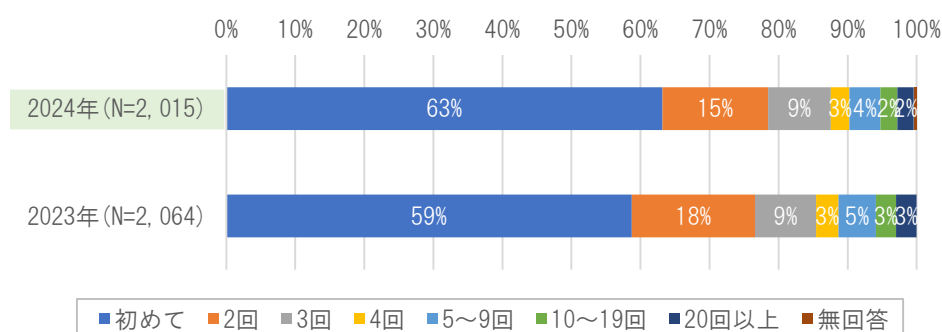


図4-18 北谷町訪問回数（県外居住者のみ）

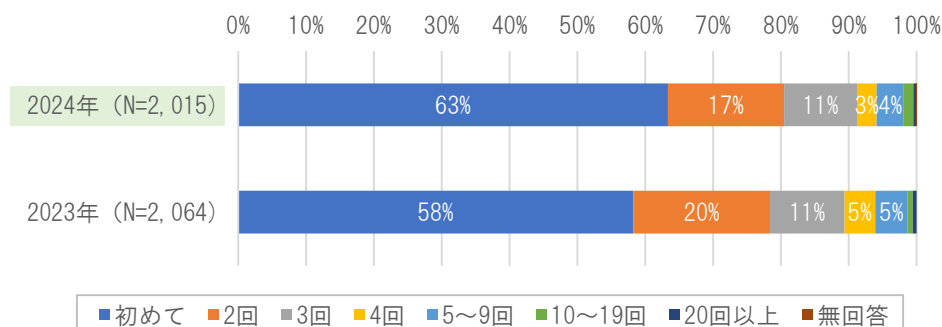


図4-19 北谷町に初めて訪問した観光客の沖縄県訪問回数の関係（県外居住者のみ）

- 居住地別（図4-20）でみると県外観光客は6割が初めての訪問となっており、4割程度がリピーターとなっている。
- 訪日外国人観光客は5割が初めての訪問だが、リピーターも5割程度いるなど一定数存在する。（図4-20）

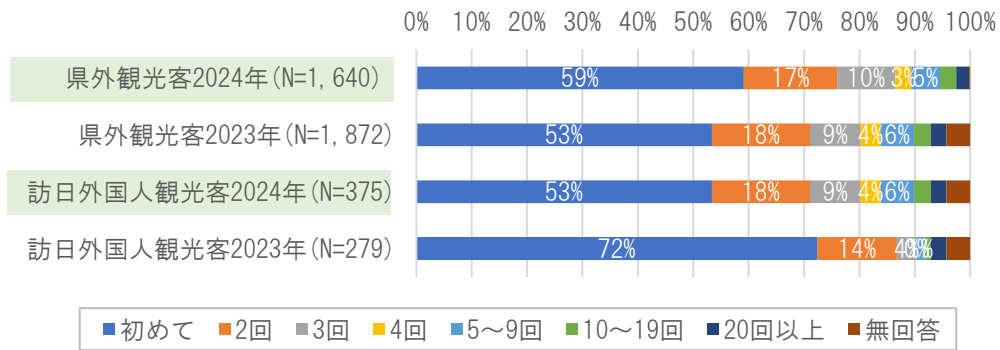


図4-20 居住地別の北谷町訪問回数

(3) 滞在実態

① 滞在日数

《県外居住者のみで整理》

○ 昨年と変わり、沖縄県滞在は『2泊』がボリュームゾーンで約38%と半数近くを占める。(図4-21)

○ 一方、北谷町滞在(図4-22)は『日帰り』が7割を占める。

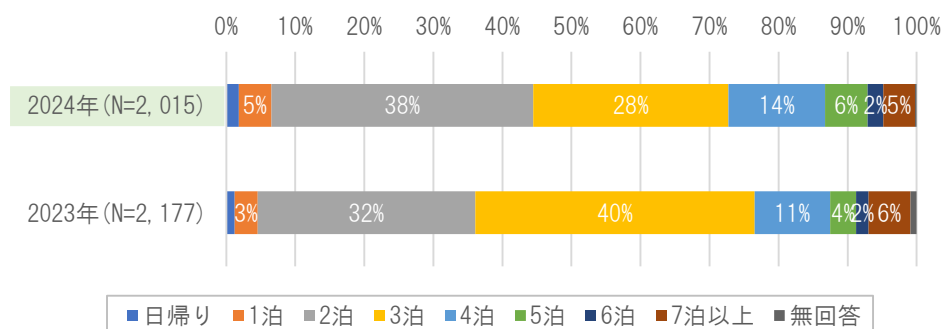


図4-21 沖縄県滞在日数

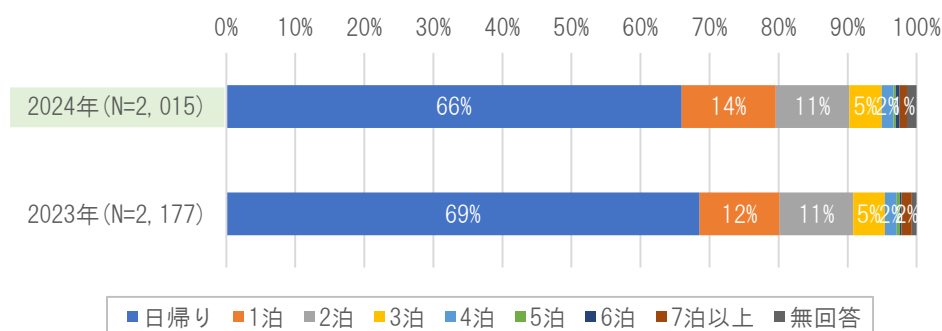


図4-22 北谷町滞在日数

② 北谷町内滞在時間

○ 昨年と同様、北谷町の滞在時間(図4-23)は、『2時間～3時間』が約43%と最も高く、『2時間～3時間』も約26%存在する。

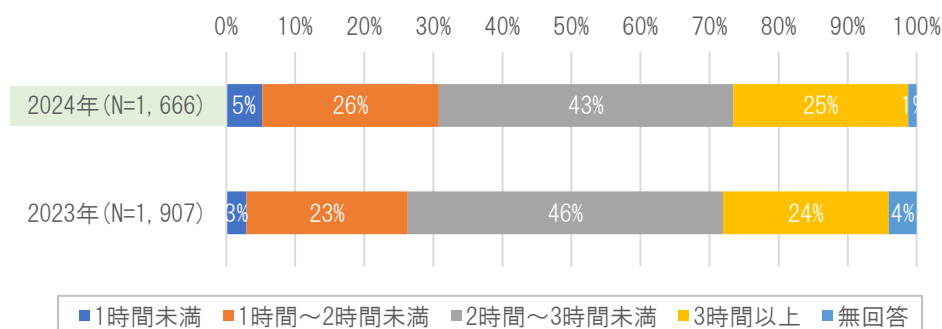


図4-23 北谷町滞在時間

③ 北谷町内での宿泊施設タイプ

- 昨年度と同じく『リゾートホテル』が約62%と最も高い。(図4-24)
- 居住地別でみると日本人宿泊客の7割は「リゾートホテル」の宿泊となっている。(図4-25)
- 一方、訪日外国人観光客は5割が「リゾートホテル」、2割が「シティホテル」と分散傾向にあり、「民宿」、「民泊」も1割程度存在する。(図4-25)

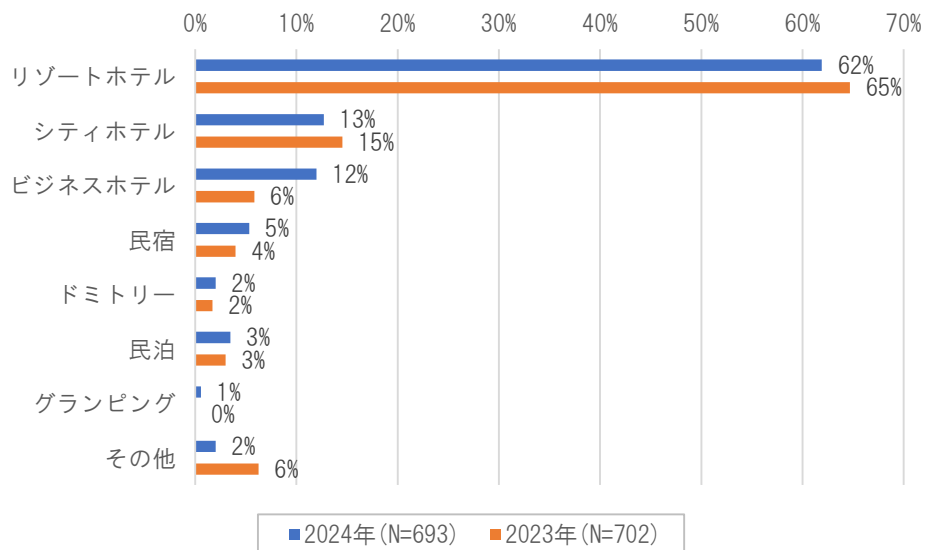


図4-24 北谷町内での宿泊施設タイプ

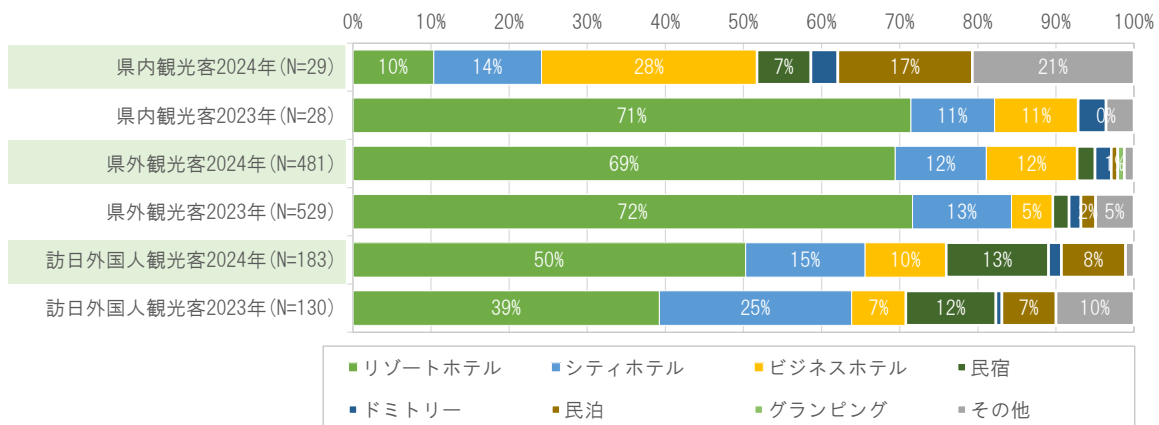


図4-25 居住地別の北谷町内での宿泊施設タイプ

(4) 観光目的

- 『観光地めぐり』が約70%と圧倒的に高く、『ショッピング』が約25%、『保養・休養』が約16%と続く。(図4-26)
- 居住地別(図4-27)でみると県内観光客は「観光地めぐり」、が約33%でともに最も高いが、「ショッピング」も約31%と同程度となっている。県外観光客は昨年と同様に「観光地めぐり」が約80%と圧倒的に高い。外国人観光客も昨年と同様に「観光地めぐり」が7割と高いが、訪日は「保養・休養」も約4割と相対的に高い。

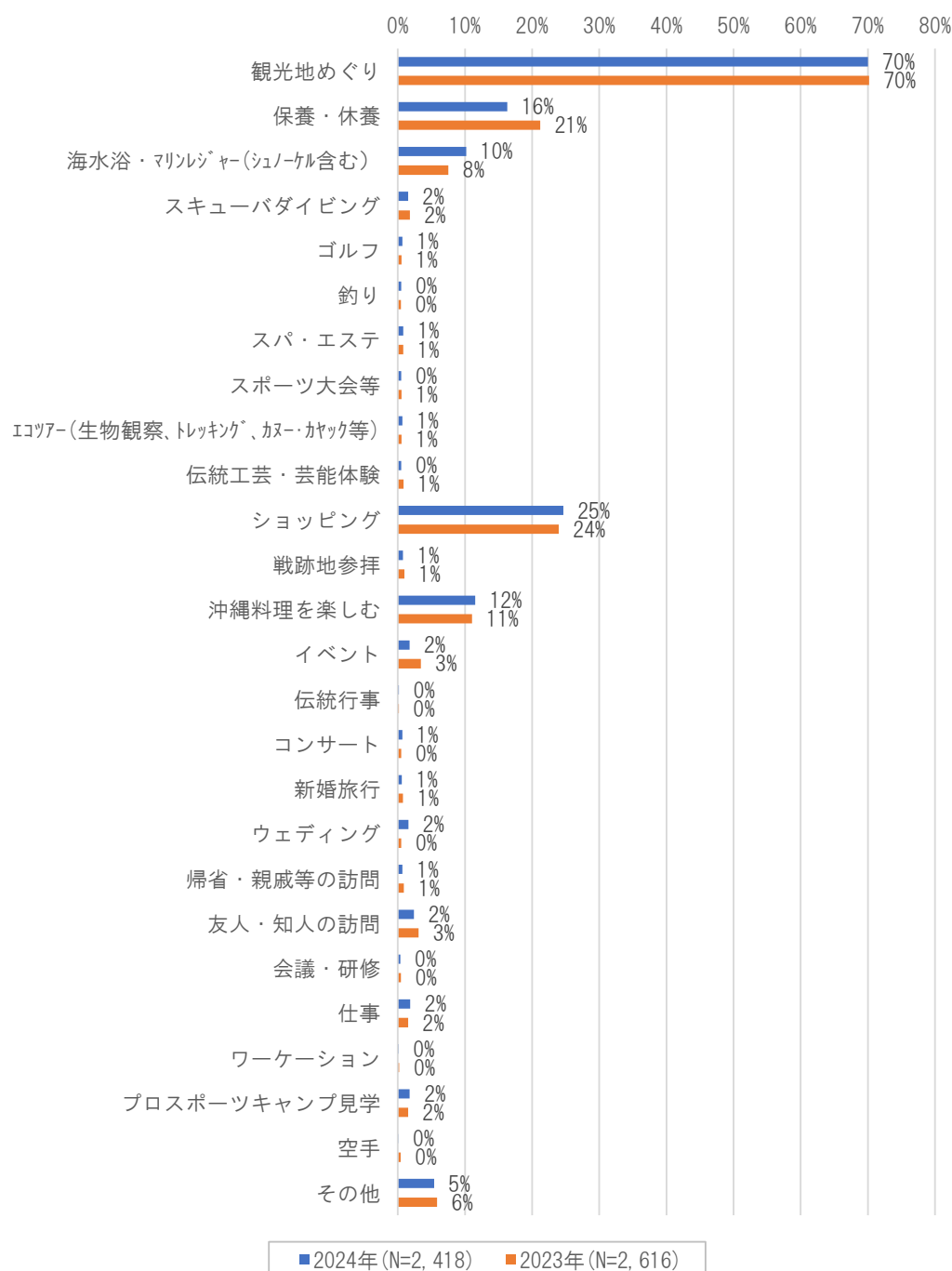


図4-26 観光目的

県内観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	33%	保養・休養	31%
ショッピング	31%	ショッピング	31%
保養・休養	18%	観光地めぐり	29%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	13%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	12%
沖縄料理を楽しむ	7%	イベント	11%
仕事	5%	友人・知人の訪問	4%
イベント	4%	沖縄料理を楽しむ	3%
友人・知人の訪問	3%	仕事	2%
スパ・エステ	1%	スポーツ大会等	2%
ゴルフ	1%	プロスポーツキャンプ見学	1%

県外観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	78%	観光地めぐり	80%
ショッピング	24%	ショッピング	22%
沖縄料理を楽しむ	11%	保養・休養	15%
保養・休養	10%	沖縄料理を楽しむ	11%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	10%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	6%
その他	3%	友人・知人の訪問	3%
プロスポーツキャンプ見学	2%	プロスポーツキャンプ見学	2%
ウェディング	2%	イベント	2%
友人・知人の訪問	2%	スキューバダイビング	1%
スキューバダイビング	2%	仕事	1%

訪日外国人観光客

2024年		2023年	
観光地めぐり	73%	観光地めぐり	66%
保養・休養	42%	保養・休養	43%
ショッピング	21%	ショッピング	23%
沖縄料理を楽しむ	20%	沖縄料理を楽しむ	19%
海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	9%	海水浴・マリンスポーツ(シュノーケル含む)	9%
友人・知人の訪問	3%	スキューバダイビング	6%
スキューバダイビング	2%	戦跡地参拝	4%
釣り	2%	友人・知人の訪問	4%
戦跡地参拝	2%	エコツアー(生物観察、トレッキング、カヌー・カヤック等)	4%
仕事	2%	仕事	3%

図4-27 居住地別の観光目的

(5) 移動手段

- 北谷町までの移動手段（図4-28）、町内の移動手段（図4-29）については、レンタカー、マイカー、知人等のクルマなど『自動車』関係の割合が8割を占める。
- 一方、公共交通である『路線バス』も約9%を占めるなど一定数は存在する。
- 県外観光客の北谷町までの移動手段（図4-30）は多くの年代で『自動車（レンタカー、知人送迎 等）』が多数を占めている。
- 訪日外国観光客の北谷町までの移動手段（図4-31）は多くの年代で『自動車（レンタカー、知人送迎 等）』と『路線バス』が多数を占めている。特に『路線バス』は県外観光客と比べて高い傾向にある。

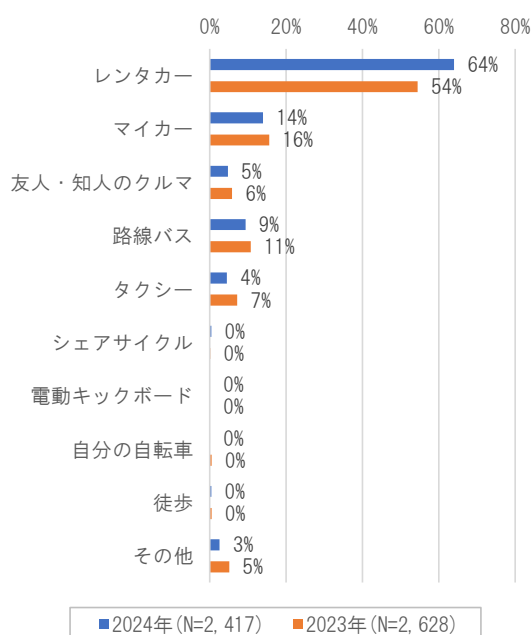


図4-28 北谷町までの移動手段

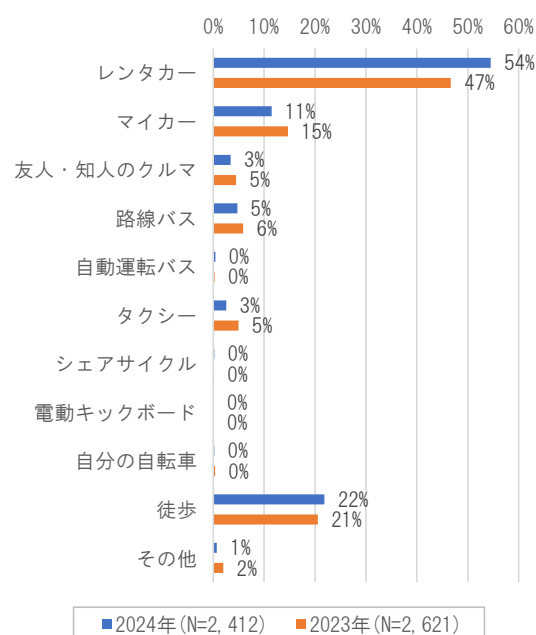


図4-29 北谷町内の移動手段

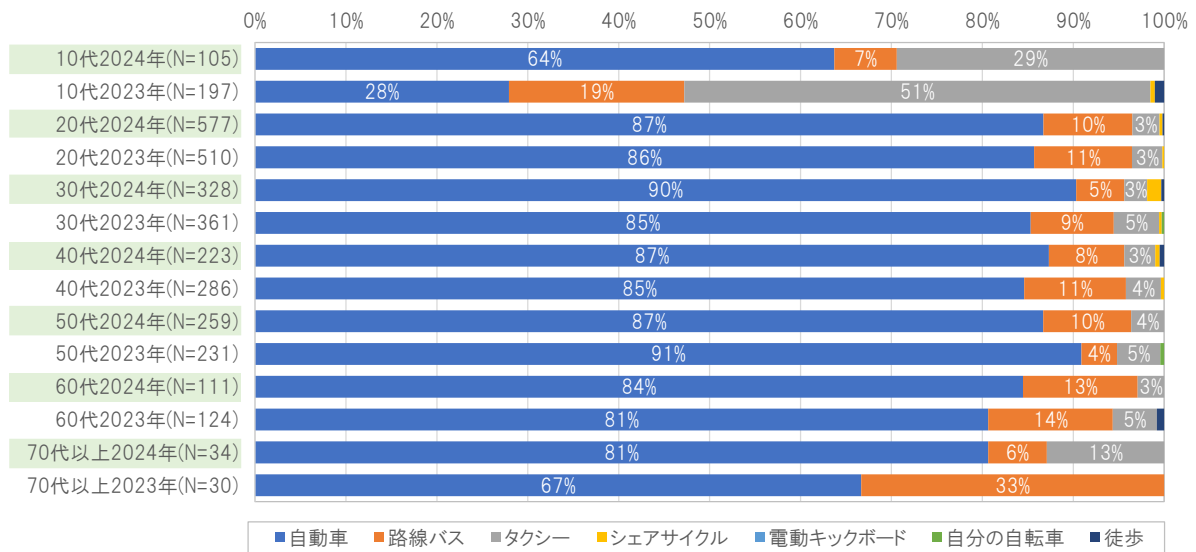


図4-30 年代別の北谷町までの移動手段（県外観光客）

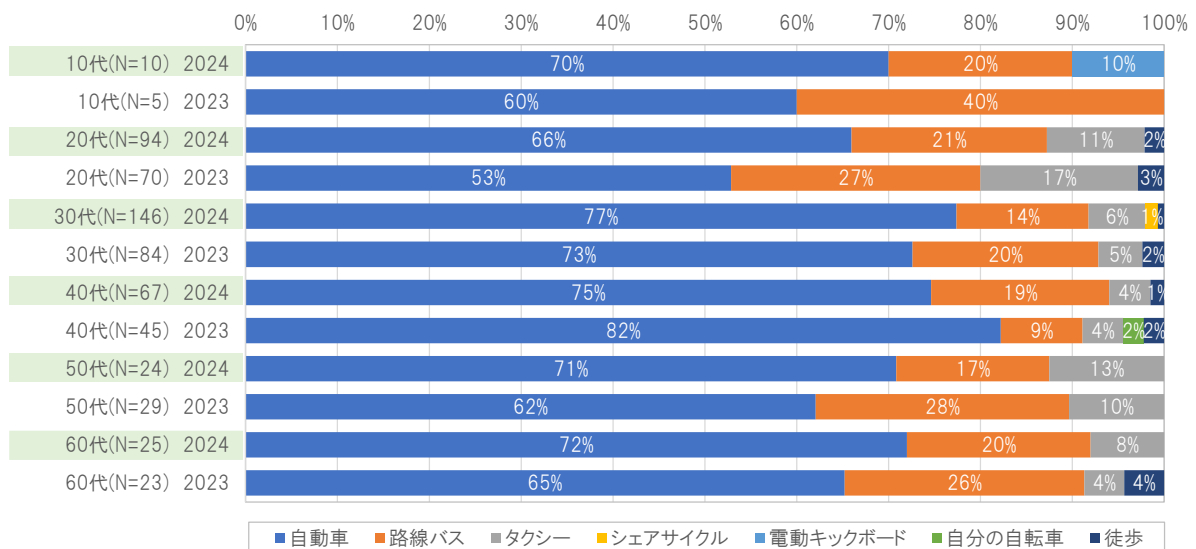


図4-31 年代別の北谷町までの移動手段（訪日外国人観光客）

(6) 町内観光の情報収集媒体

○ 昨年と同様に『SNS』が約61%と最も高い。(図4-32、表4-4)

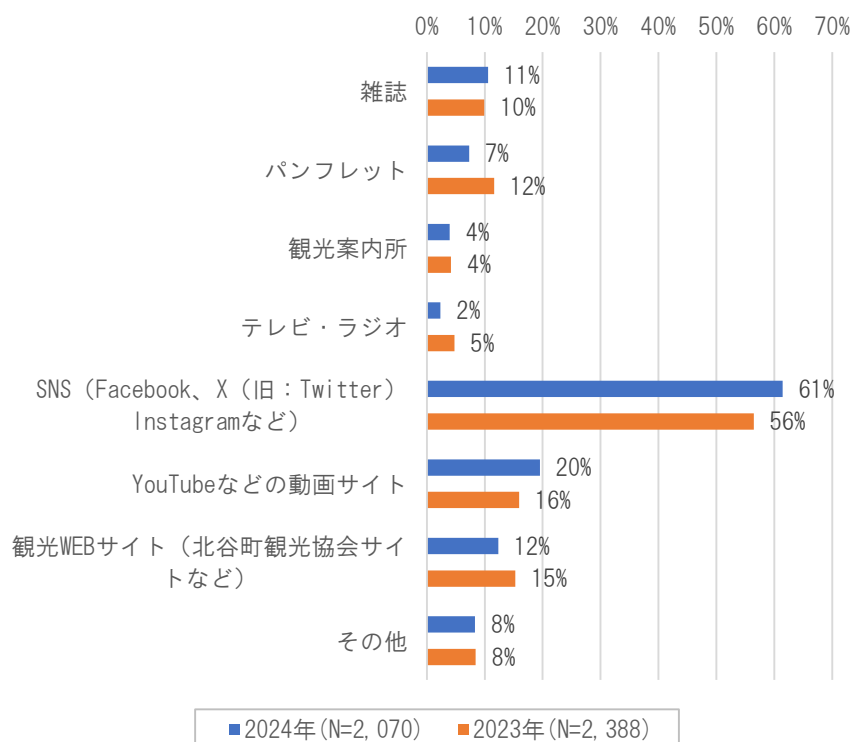


図4-32 町内観光の情報収集媒体

表4-4 年齢別町内観光の情報収集媒体

	雑誌	パンフレット	観光案内所	テレビ・ラジオ	SNS	YouTubeなどの動画サイト	観光WEBサイト(北谷町観光協会サイトなど)	その他	無回答
10代(N=129) 2024年	5%	9%	7%	3%	68%	15%	12%	3%	33%
10代(N=312) 2023年	3%	16%	6%	4%	54%	11%	15%	9%	14%
20代(N=708) 2024年	7%	4%	3%	2%	77%	16%	8%	6%	13%
20代(N=676) 2023年	6%	7%	3%	3%	76%	12%	9%	8%	7%
30代(N=492) 2024年	10%	6%	5%	2%	62%	23%	11%	7%	18%
30代(N=524) 2023年	10%	11%	4%	6%	59%	18%	14%	9%	9%
40代(N=298) 2024年	15%	9%	4%	3%	55%	22%	15%	9%	21%
40代(N=376) 2023年	15%	13%	6%	7%	48%	20%	21%	9%	11%
50代(N=281) 2024年	14%	11%	4%	3%	43%	23%	17%	13%	16%
50代(N=283) 2023年	14%	13%	4%	6%	44%	23%	24%	8%	10%
60代(N=132) 2024年	15%	16%	4%	4%	31%	18%	21%	16%	20%
60代(N=157) 2023年	22%	20%	9%	7%	25%	17%	21%	14%	16%
70代以上(N=30) 2024年	20%	13%	7%	7%	23%	20%	27%	13%	20%
70代以上(N=43) 2023年	21%	28%	9%	12%	14%	16%	16%	7%	19%

(7) 町内での観光消費額

○ 北谷町内での居住地別の観光消費額（表4-5）は、訪日外国人観光客の総額が高く、一人1日当たり27,945円/人・日となっている。県外観光客は、一人当たり25,014円/人・日となっている。

表4-5 属性別の町内での一人当たり観光消費額

(円/人・日)

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
県内観光客 2024年 (N=399)	9,032	1,886	229	319	1,067	270	12,804
県内観光客 2023年 (N=399)	5,571	880	64	130	297	46	6,988
県外観光客 2024年 (N=1,567)	17,337	3,046	1,252	328	2,674	376	25,014
県外観光客 2023年 (N=1,644)	19,865	3,003	1,230	307	2,323	492	27,220
訪日外国人観光客 2024年 (N=358)	15,791	4,670	1,997	694	4,704	88	27,945
訪日外国人観光客 2023年 (N=258)	19,909	4,662	4,695	902	4,060	404	34,632
観光客全体 2024年 (N=2,324)	16,697	3,097	1,191	383	2,711	314	24,393
訪日外国人観光客 2023年 (N=2,325)	19,104	2,872	1,407	372	2,165	401	26,321

○ 年代別の消費額（表4-6、図4-33）をみると、40代を除くと、年代が高いほど消費額が高まる傾向にある。

表4-6 年代別の町内での一人当たり観光消費額

(円/人・日)

	宿泊	飲食	交通	娯楽	土産	その他	合計
10代 2024年 (N=156)	10,920	1,811	622	307	1,433	236	15,329
10代 2023年 (N=195)	12,291	1,138	1,173	132	1,434	64	16,232
20代 2024年 (N=770)	13,847	2,356	801	403	1,989	316	19,712
20代 2023年 (N=677)	13,729	2,428	1,219	256	1,789	197	19,618
30代 2024年 (N=563)	16,514	3,490	978	337	2,824	456	24,599
30代 2023年 (N=539)	18,164	3,301	795	232	2,005	535	25,032
40代 2024年 (N=339)	21,308	3,627	2,195	513	3,538	270	31,451
40代 2023年 (N=381)	19,239	3,069	1,068	252	2,755	799	27,182
50代 2024年 (N=320)	17,901	3,856	1,549	353	3,801	206	27,666
50代 2023年 (N=295)	24,245	3,309	1,435	270	3,131	543	32,933
60代 2024年 (N=145)	19,687	3,910	1,795	307	3,235	200	29,134
60代 2023年 (N=174)	23,969	4,705	2,116	1,066	3,652	1,277	36,785
70代以上 2024年 (N=31)	13,170	3,429	108	369	2,278	161	19,514
70代以上 2023年 (N=48)	51,030	6,039	3,168	215	2,523	81	63,056

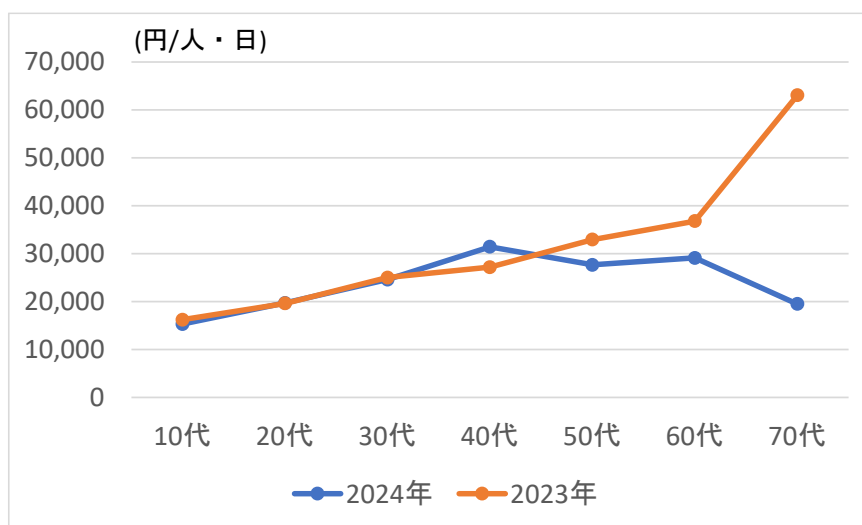


図4-33 年齢別の総観光消費額

(8) 観光満足度

○ 観光満足度（図4-34）は各項目において「満足」、「やや満足」を合わせた好意的評価が8割以上になるなど総じて高いが、『娯楽・イベント』、『情報サービス』は相対的に低くなっている。

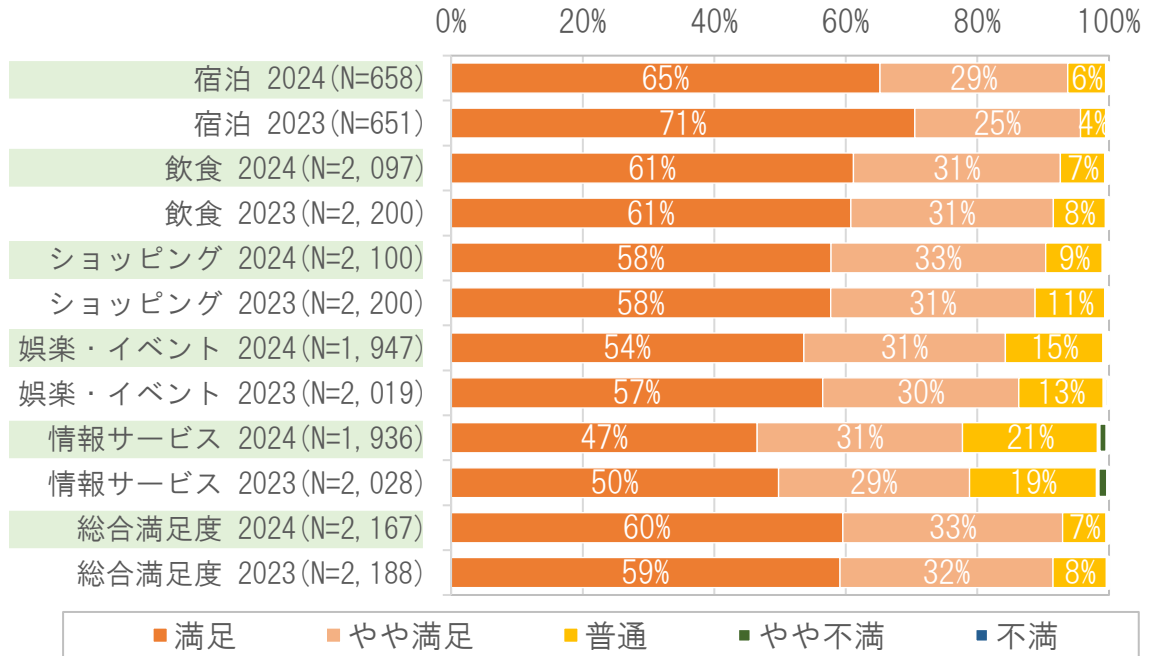
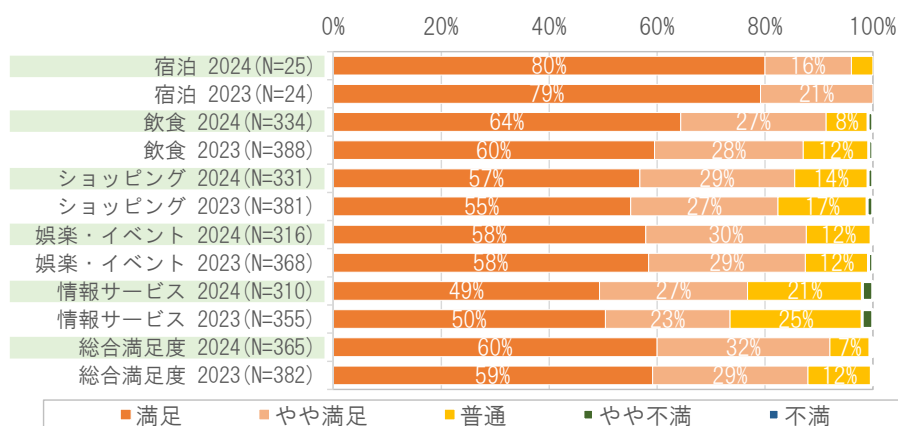


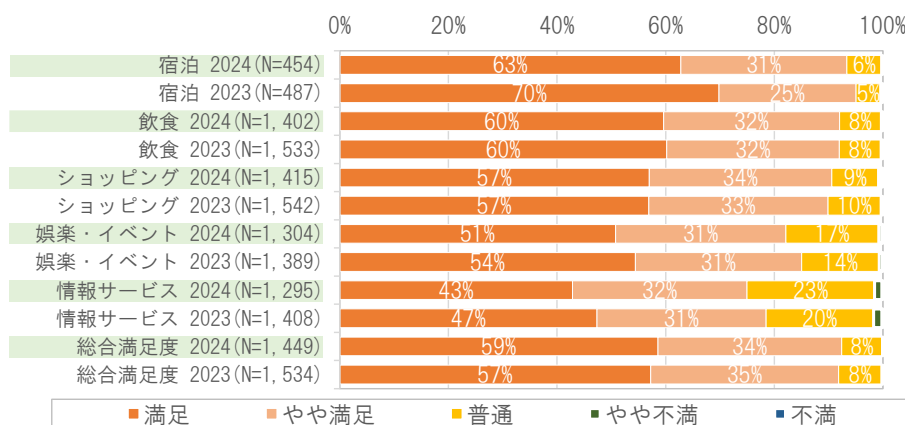
図4-34 観光満足度

- 居住地別でも満足度は、県外観光客、外国人観光客ともに総じて高く、特に「宿泊」の評価が高い。しかし、「情報サービス」について相対的に満足度が低下しており、『不満』をあげる観光客が存在する。(図4-35)
- 不満の理由としては、美浜アメリカンビレッジ内の場所、全体図や地図がわかりづらい、トイレ、施設情報が少ない、施設が古いとの意見等がある。

県内観光客



県外観光客



訪日外国人観光客

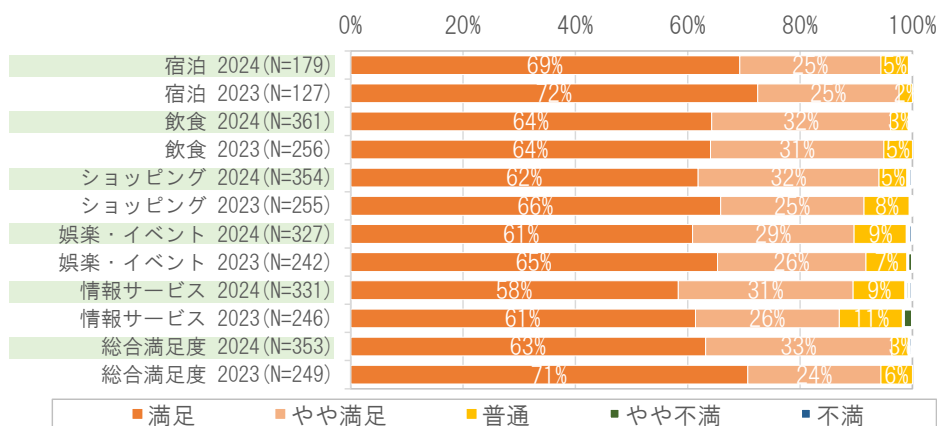


図4-35 居住地別の観光満足度

■主な自由回答意見

○情報サービス

- ・表示が(場所)わかりにくい。(県外観光客)
- ・場所の表示はわかりにくい。(県外観光客)
- ・アメリカンビレッジの全体図がわかりにくい。トイレがわかりにくい。(県外観光客)
- ・トイレが少ない。場所がわかりにくい。(県外観光客)
- ・店内トイレ有と無のサイン表示してほしい。トイレ表示が少ない。(県外観光客)
- ・観光マップが目につく所に置いてあるといい。(県外観光客)
- ・トイレ案内など。例えば看板などはっきりわかるようにしてほしい。(県外観光客)
- ・総合案内があればうれしい(アメリカンビレッジ) 授乳室がほしい。(県外観光客)
- ・アメリカンビレッジの地図が見づらい。(県外観光客)
- ・地図がわかりづらい。(県外観光客)
- ・ゴチャゴチャしてたので、よくわかりません。(県外観光客)

○ショッピング

- ・ポリ 100%のスポーツ生地 of Tシャツがほしいです。スポーツ中に着たいです。もっと古着屋さんを増やしてもらえると良いと思います。(県外観光客)
- ・服とかショッピング系が少ない、食べ物ばかり。(県外観光客)

○食事

- ・おいしくない。(県内観光客)
- ・食べたいものがなかった。また、価格が高かった。(県外観光客)
- ・予約しにくい。(県外観光客)

○その他

- ・さびれてて、にぎやかさにかける。(県外観光客)
- ・施設が古い。(県内観光客)
- ・金額を安くして欲しい。(県内観光客)
- ・公共交通の運行状況(訪日外国人観光客)
- ・グッとくる情報がない。(県外観光客)
- ・営業時間が短い、閉店が早い。(県外観光客)
- ・アピール不足(県外観光客)

(9) 再訪問意向

① 再訪問意向

- 強い再訪意向が高い『是非訪問したい』が約 68%を占めるなどリピート意向は高く、『訪問したくない』などは 0%となっている。(図 4-36)
- 居住地別でも、全ての観光客で再訪問意向は高い。(図 4-37)

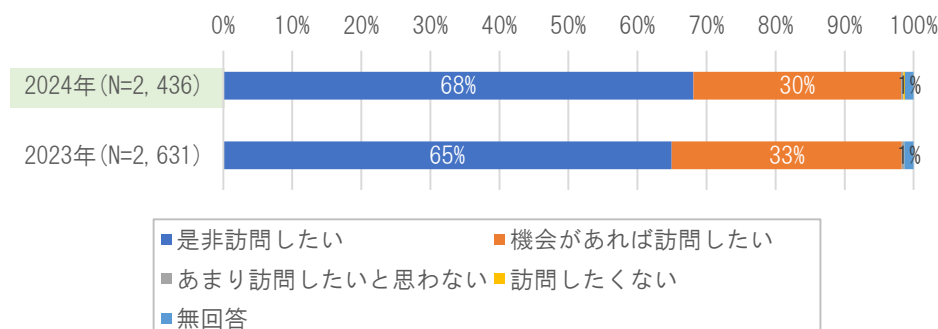


図 4-36 再訪問意向

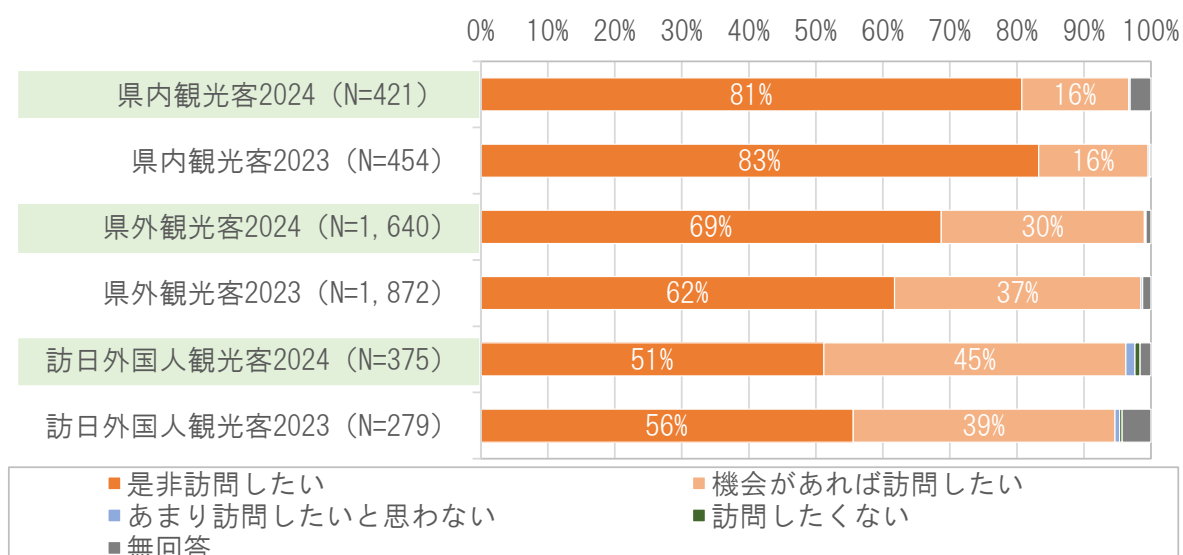


図 4-37 居住地別の再訪問意向

② 再訪問の理由

- 再訪問の理由（図4-38）としては、『海や自然が美しいから』が約48%と最も高く、『ショッピング施設が充実しているから』が約45%、『街の景観が良いから』約42%と続いている。
- 居住地別でも、「海や自然が美しいから」が上位にあり、北谷の海が評価されている。（図4-39）

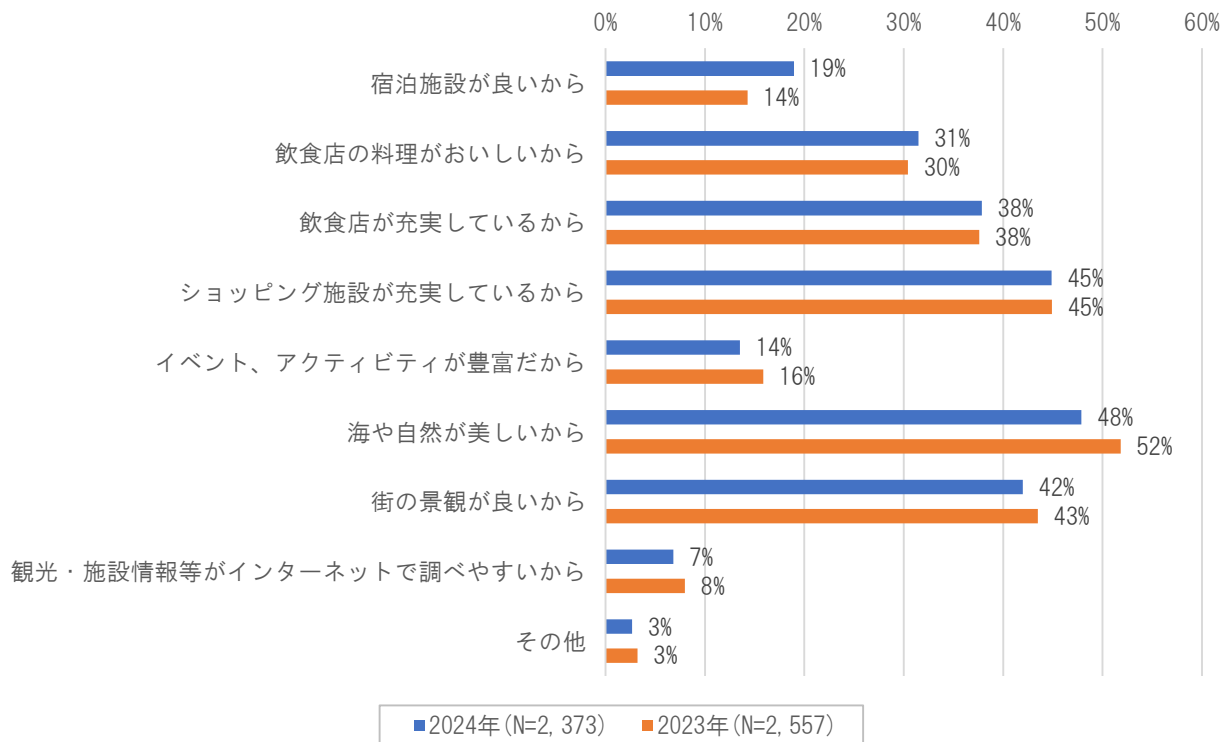


図4-38 再訪問の理由

2024年		2023年	
県内観光客 (N=421)		県内観光客 (N=454)	
街の景観の良さ	41%	海や自然の美しさ	51%
飲食店の充実度	41%	街の景観の良さ	45%
海や自然の美しさ	41%	飲食店の充実度	43%
ショッピング施設の充実度	35%	ショッピング施設の充実度	37%
飲食店の料理のおいしさ	30%	飲食店の料理のおいしさ	30%
県外観光客 (N=1,640)		県外観光客 (N=1,872)	
ショッピング施設の充実度	49%	海や自然の美しさ	48%
海や自然の美しさ	43%	ショッピング施設の充実度	47%
街の景観の良さ	40%	街の景観の良さ	41%
飲食店の充実度	36%	飲食店の充実度	34%
飲食店の料理のおいしさ	28%	飲食店の料理のおいしさ	27%
訪日外国人観光客 (N=375)		訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	69%	海や自然の美しさ	63%
街の景観の良さ	44%	街の景観の良さ	45%
飲食店の料理のおいしさ	42%	飲食店の料理のおいしさ	43%
飲食店の充実度	35%	飲食店の充実度	39%
ショッピング施設の充実度	31%	ショッピング施設の充実度	34%

図4-39 居住地別の再訪問の理由

(10) お勧め度

① ネット・プロモーター・スコア

- 観光客全体のネット・プロモーター・スコアは、『56』となっている。
- 居住地別でみると、県内観光客が最も高く、訪日外国人観光客の順に高い。他市と比較しても総じて高い数値となっており、観光満足度は高いことが推察される。

	2023 年	2024 年
県内観光客	62	→ 69
県外観光客	45	→ 53
訪日外国人観光客	52	→ 54
観光客全体	49	→ 56

*NPS（ネット・プロモーター・スコア）とは顧客ロイヤルティ（商品やサービスに対する信頼・愛着）を測る指標で、顧客満足度とは異なり、企業の収益と相関が強いといわれており、海外を中心に経営指標としての導入が進んでいる。数値が高いほど良い評価を示している。観光地評価としては、公益社団法人京都市観光協会が導入しており、京都では、日本人観光客が 20.4、外国人観光客が 53.9（平成 28 年）となっている。

② お勧めしたい要素

○ お勧めしたい要（図4-40）としては、『海や自然が美しいから』が約53%と最も高く、ついで、『ショッピング施設が充実しているから』が49%で、『街の景観が良いから』が47%となっている。

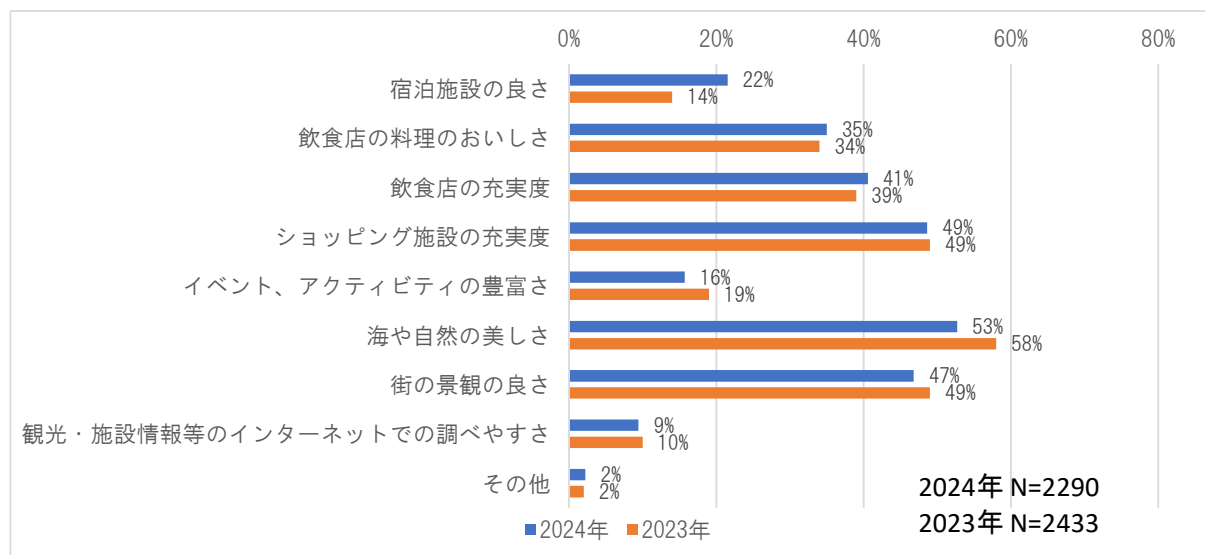


図4-40 お勧めしたい要素

4章 観光客満足度・消費動向調査

2024年

県内観光客 (N=392)	
街の景観の良さ	56%
海や自然の美しさ	54%
飲食店の充実度	48%
ショッピング施設の充実度	43%
飲食店の料理のおいしさ	39%
イベント、アクティビティの豊富さ	24%
宿泊施設の良さ	17%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	12%
その他	3%

県外観光客 (N=1,548)	
ショッピング施設の充実度	52%
海や自然の美しさ	49%
街の景観の良さ	44%
飲食店の充実度	39%
飲食店の料理のおいしさ	31%
宿泊施設の良さ	19%
イベント、アクティビティの豊富さ	13%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	6%
その他	3%

訪日外国人観光客 (N=350)	
海や自然の美しさ	70%
飲食店の料理のおいしさ	51%
街の景観の良さ	50%
飲食店の充実度	41%
ショッピング施設の充実度	39%
宿泊施設の良さ	36%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	20%
イベント、アクティビティの豊富さ	19%
その他	0%

2023年

県内観光客 (N=454)	
海や自然の美しさ	56%
街の景観の良さ	50%
飲食店の充実度	41%
ショッピング施設の充実度	35%
飲食店の料理のおいしさ	32%
イベント、アクティビティの豊富さ	31%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	10%
宿泊施設の良さ	3%
その他	2%

県外観光客 (N=1,872)	
海や自然の美しさ	52%
ショッピング施設の充実度	49%
街の景観の良さ	43%
飲食店の充実度	33%
飲食店の料理のおいしさ	30%
宿泊施設の良さ	14%
イベント、アクティビティの豊富さ	14%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	7%
その他	2%

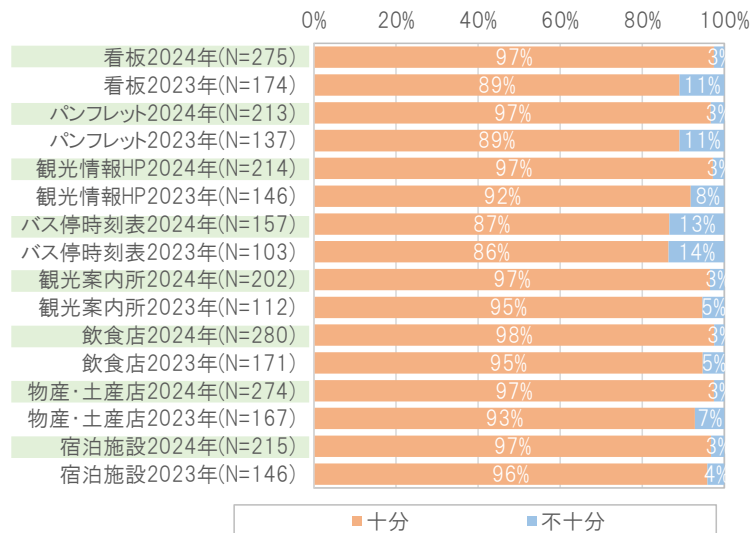
訪日外国人観光客 (N=279)	
海や自然の美しさ	65%
街の景観の良さ	48%
飲食店の料理のおいしさ	43%
ショッピング施設の充実度	41%
飲食店の充実度	41%
イベント、アクティビティの豊富さ	24%
宿泊施設の良さ	23%
観光・施設情報等のインターネットでの調べやすさ	20%
その他	5%

図4-41 居住地別のお勧め要素

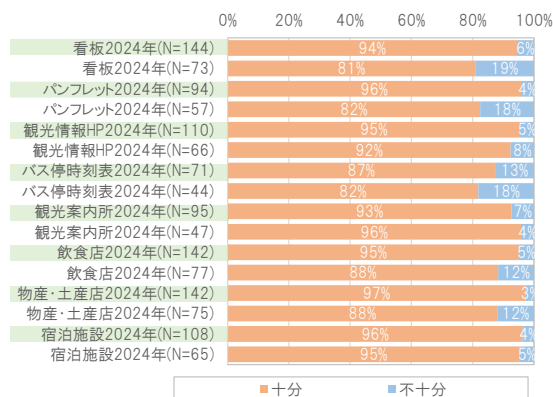
(11) 外国語表記の充実度

- 昨年と同様に、英語の多言語表記は十分との回答割合が各項目で高い。
- サンプルが少ないものの、国・地域別でも軒並み十分の割合が高いが、昨年に比べ、十分の割合が増えている項目がみられる。(図4-42)

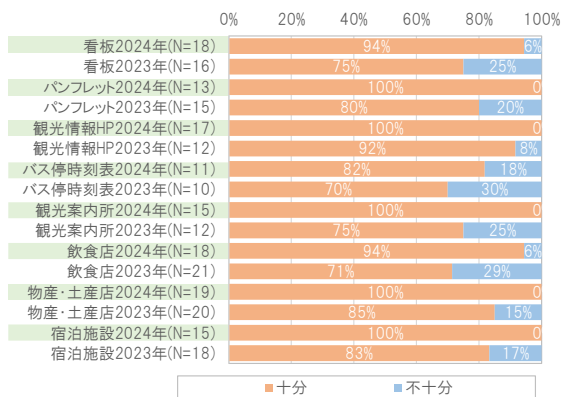
英語圏



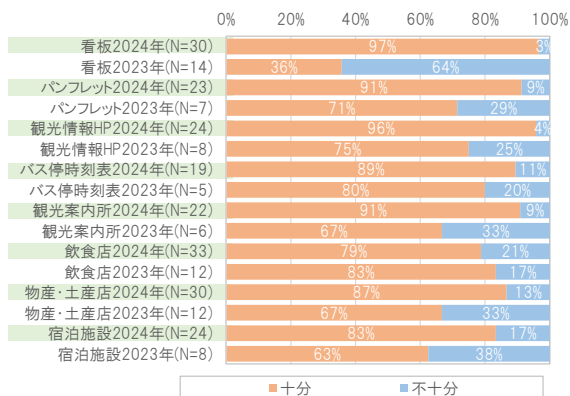
台湾



香港



韓国



中国

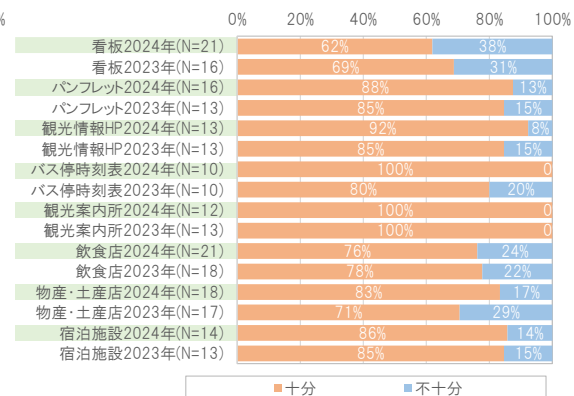


図4-42 母国語表記の充実度